

カスタムプロパティ ゾーン システム管理

目次

1.カスタムプロパティ	2
カスタムプロパティの追加	
カスタムプロパティの編集	
カスタムプロパティの利用	
2.ゾーン.....	12
ゾーンの配置	
ゾーンの設定	
ゾーンの範囲変更	
ゾーンの利用	
3.システム管理.....	26
システム管理パネル	
分類の追加	
システム管理の編集	
システム管理の利用	
4.確認モード.....	37
確認モードの起動	
色の変更	
色分けの凡例	
確認モードの終了	

更新日：2019/1/25 Rebro2018 SP1対応

1. カスタムプロパティ

要素を持つプロパティとは別に、プロパティ項目を追加することができます。

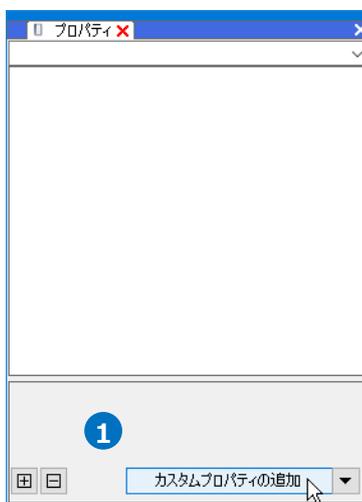
カスタムプロパティを追加した要素は、プロパティの値ごとに色分けして表示することができます。

その他、カスタムプロパティには次のような利用方法があります。

1. カスタムプロパティの値をキーワードとして部材検索する。
2. カスタムプロパティの値ごとに拾い集計する。
3. カスタムプロパティの情報をIFC、テキストファイルに出力する。

カスタムプロパティの追加

- 1 プロパティパネルの[カスタムプロパティの追加]をクリックします。

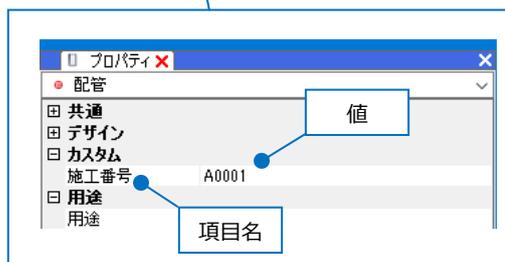


- 2 [カスタムプロパティの追加]ダイアログより、プロパティパネルに追加する項目名、初期値、値の候補を入力します。
※初期値と値の候補は省略することができます。

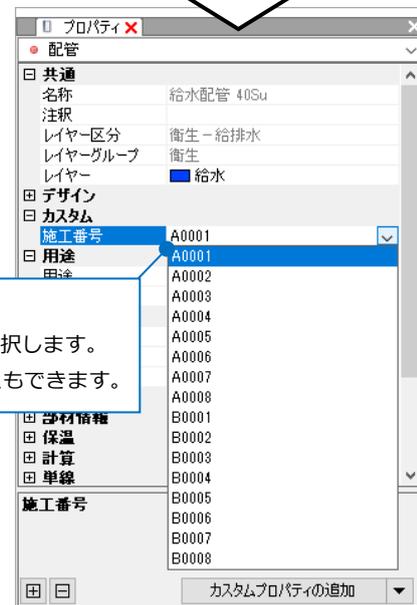
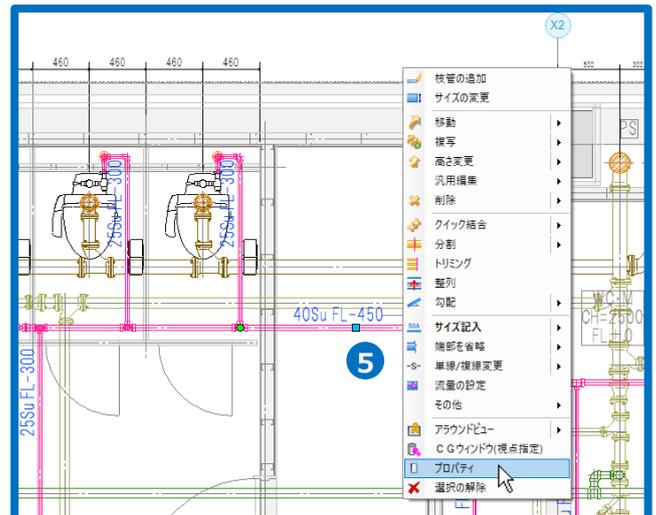


- 3 項目を追加する要素にチェックを入れます。

- 4 [OK]をクリックします。



- 5 プロパティパネルを起動します。
→追加した項目と値を確認することができます。

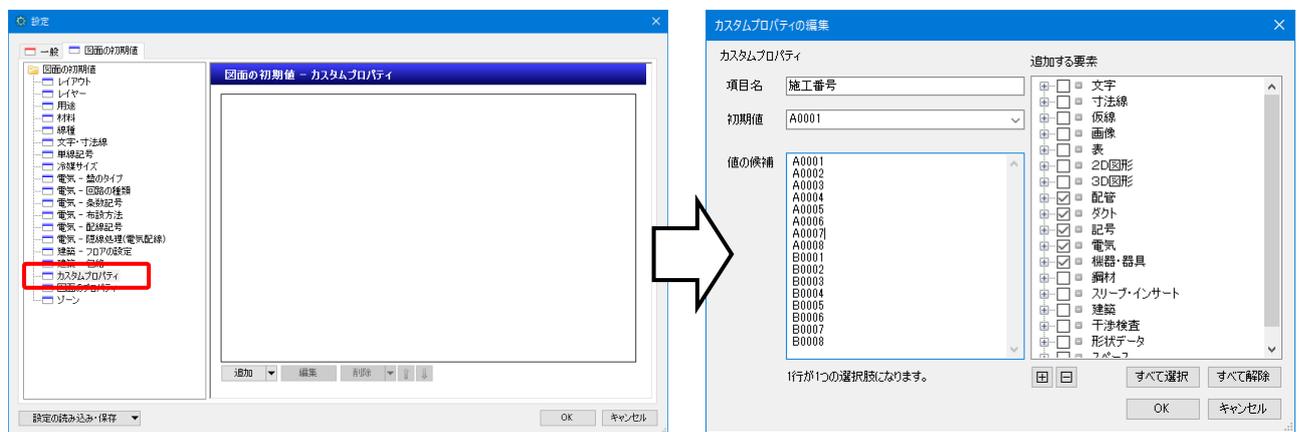


[初期値]が設定されます。
[値の候補]で設定した値から選択します。
値を直接入力して変更することもできます。

● 補足説明

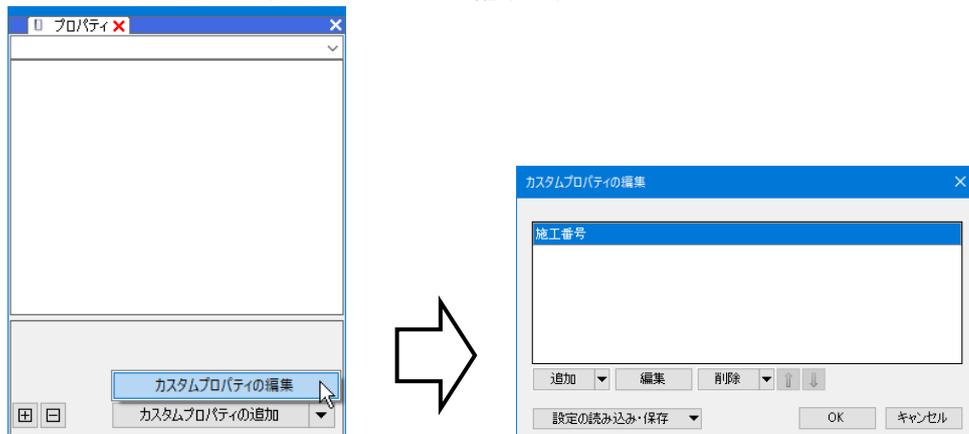
新規図面にカスタムプロパティを追加することができます。

[設定]の[図面の初期値]タブ-[カスタムプロパティ]で項目名、値の初期値、値の候補を入力し、追加する要素にチェックを入れます。



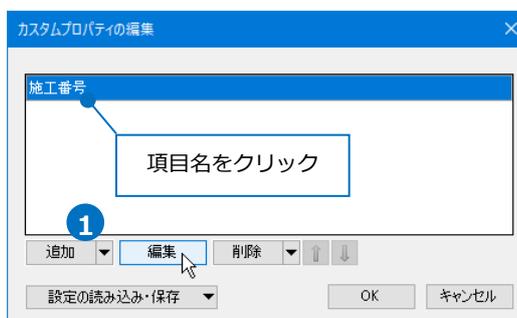
カスタムプロパティの編集

プロパティパネルの[カスタムプロパティの追加]横の▼をクリックし、[カスタムプロパティの編集]から追加したカスタムプロパティの項目について編集が行えます。

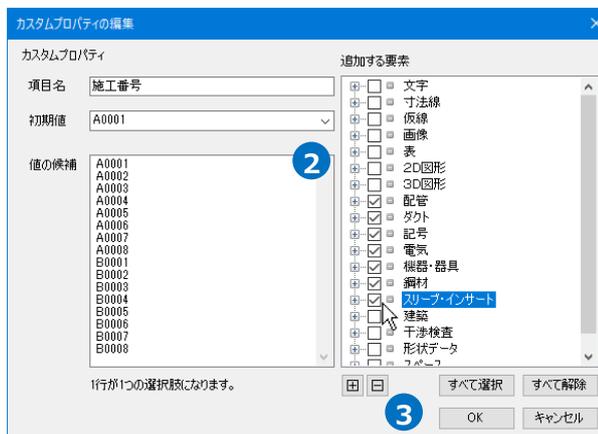


項目の編集

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより編集する項目名を指定し、[編集]をクリックします。

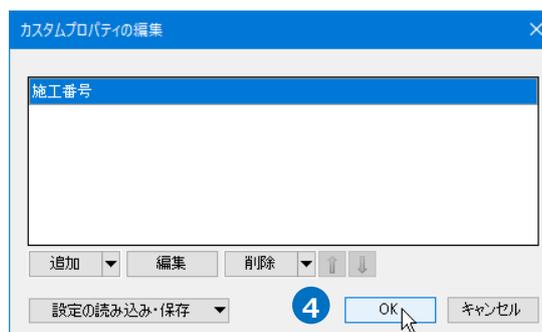


- 2 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより項目名、初期値、値の候補、追加する要素を更新します。



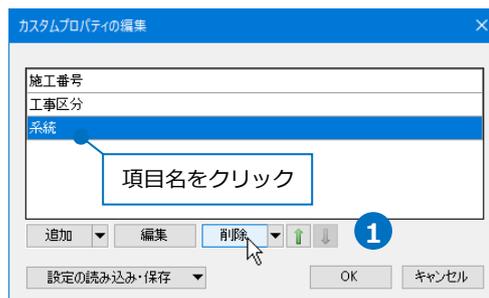
- 3 [OK]をクリックします。

- 4 [カスタムプロパティの編集]ダイアログの[OK]をクリックします。
→カスタムプロパティの内容が更新されます。

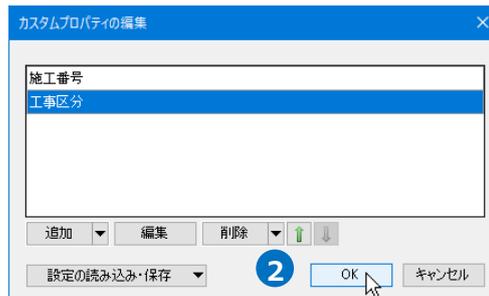


項目の削除

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより項目名を指定し、[削除]をクリックします。

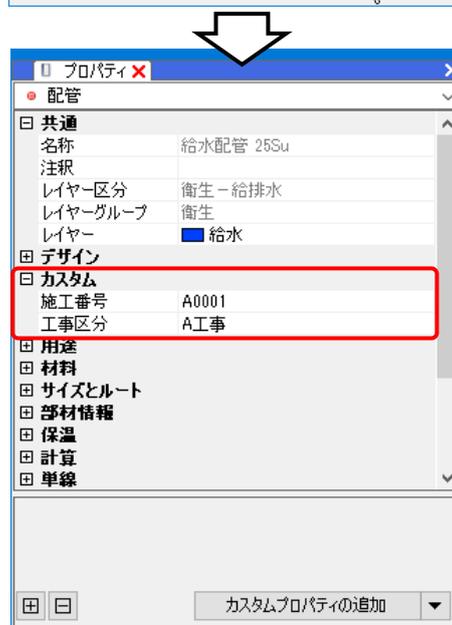


- 2 [OK]をクリックします。
→カスタムプロパティの項目が削除されます。



Memo

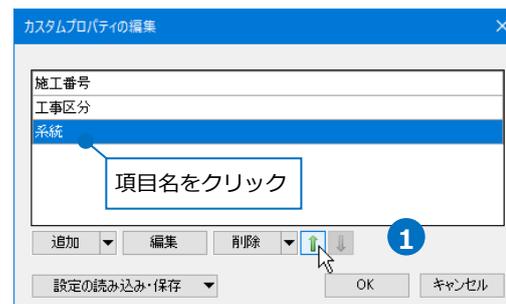
[削除]横の▼より、[すべて削除]をクリックすると、カスタムプロパティの項目を一括で削除することができます。



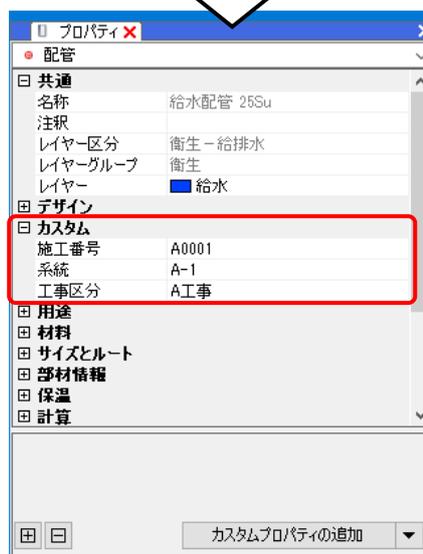
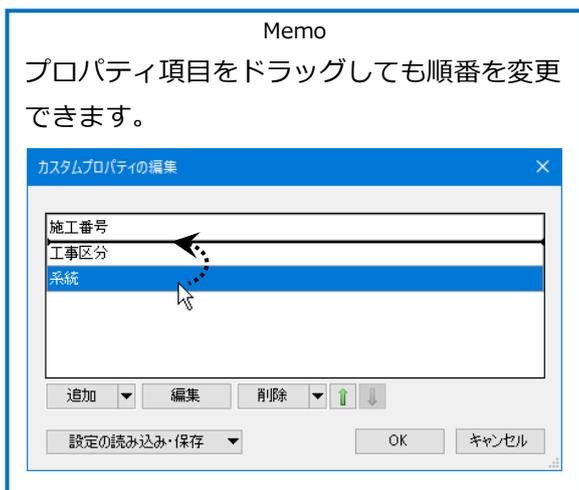
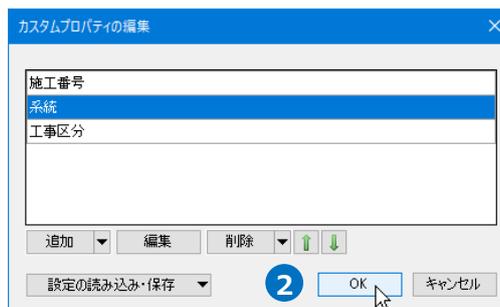
表示順の変更

[プロパティ]-[カスタム]の表示順を変更します。

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより項目名を指定し、矢印をクリックします。



- 2 [OK]をクリックします。
→表示順が変更されます。

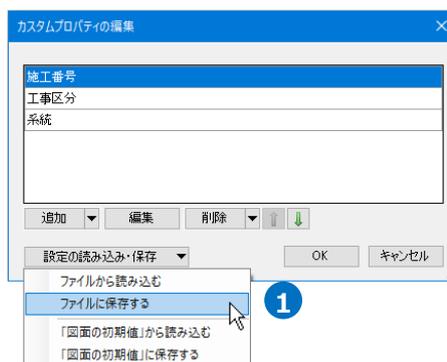


設定ファイルの保存・読み込み

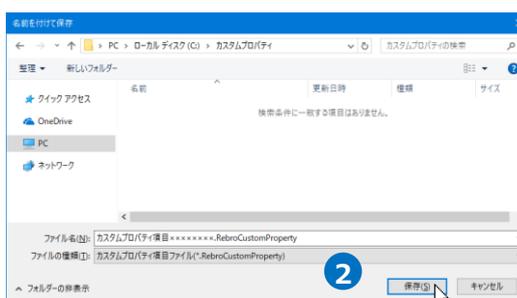
カスタムプロパティは図面ごとに設定します。同じカスタムプロパティの項目を他の図面で利用するには、設定ファイルを作成します。

設定ファイルを保存する

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより[設定の読み込み・保存]-[ファイルに保存する]をクリックします。
→[名前を付けて保存]ダイアログが開きます。

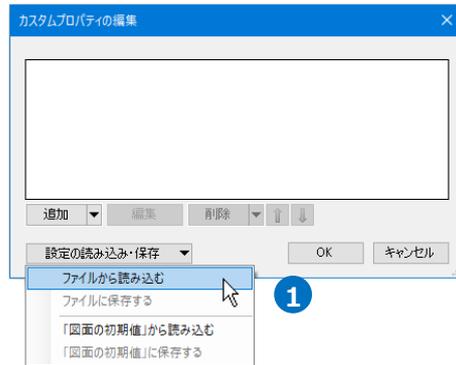


- 2 [名前を付けて保存]ダイアログでファイル名を入力し、[保存]をクリックします。
→カスタムプロパティの設定ファイル (*.RebroCustomProperty)を保存します。

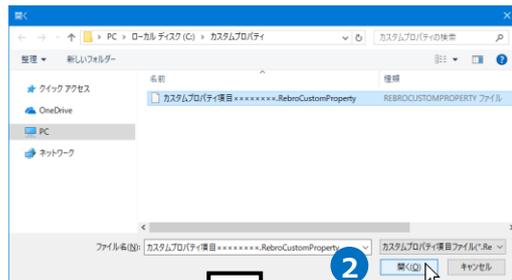


設定ファイルを読み込む

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより[設定の読み込み・保存]-[ファイルから読み込む]をクリックします。
→[開く]ダイアログが開きます。

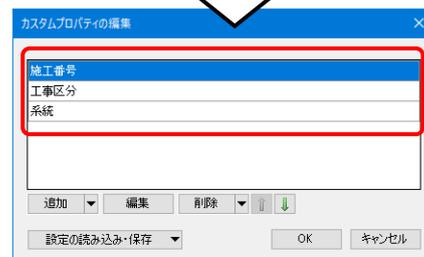


- 2 [開く]ダイアログから読み込む設定ファイル (*.RebroCustomProperty)を選択し、[開く]をクリックします。
→カスタムプロパティが追加されます。



Memo

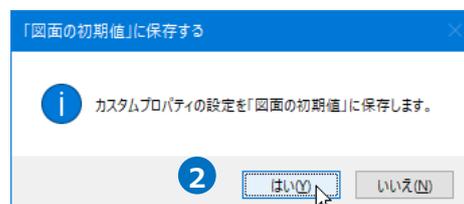
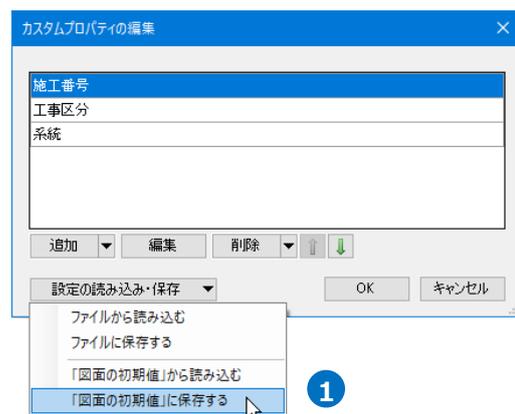
設定ファイルに保存した項目が追加されます。
同じ項目名があった場合は、設定内容は上書きされません。



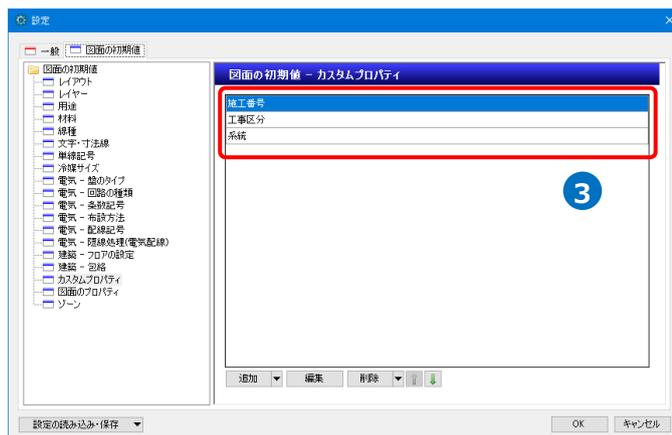
新規図面にカスタムプロパティを追加

追加したカスタムプロパティを新規図面で使用します。

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより[設定の読み込み・保存]-[「図面の初期値」に保存する]をクリックします。
→[「図面の初期値」に保存する]ダイアログが開きます。
- 2 [「図面の初期値」に保存する]ダイアログの[はい]をクリックします。
→図面の初期値に設定が保存されます。



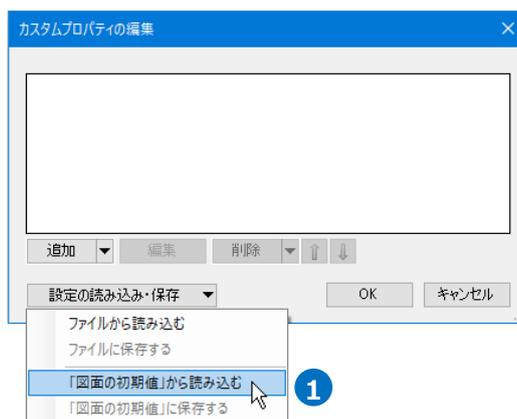
- 3 [設定]の[図面の初期値]タブ-[カスタムプロパティ]で保存されたプロパティ項目を確認できます。



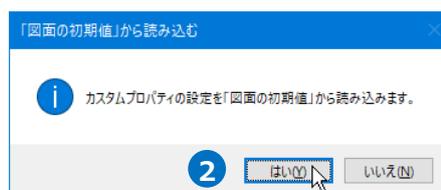
現在の図面にカスタムプロパティを読み込む

図面の初期値に保存したカスタムプロパティを現在の図面に読み込みます。

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより[設定の読み込み・保存]-[「図面の初期値」から読み込む]をクリックします。
→[「図面の初期値」から読み込む]ダイアログが開きます。



- 2 [「図面の初期値」から読み込む]ダイアログの[はい]をクリックします。
→図面の初期値の設定が、現在の図面に読み込まれます。



Memo

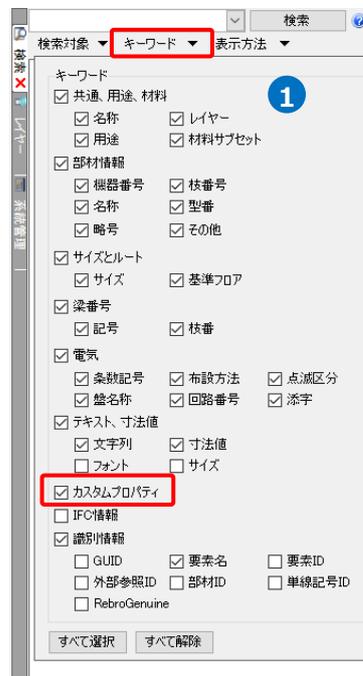
図面上で設定した既存の項目がある場合、その項目は削除され、図面の初期値の設定に置き換わります。

カスタムプロパティの利用

部材検索

カスタムプロパティの値から要素を検索できます。

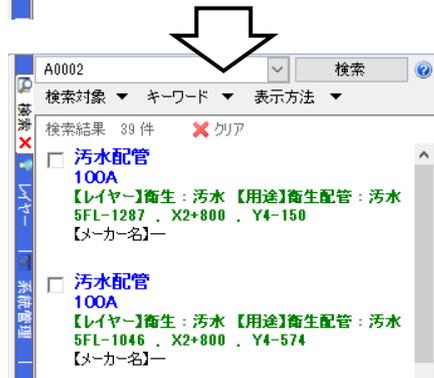
- 1 [検索]パネルの[キーワード]をクリックし、[キーワード]より「カスタムプロパティ」にチェックを入れます。



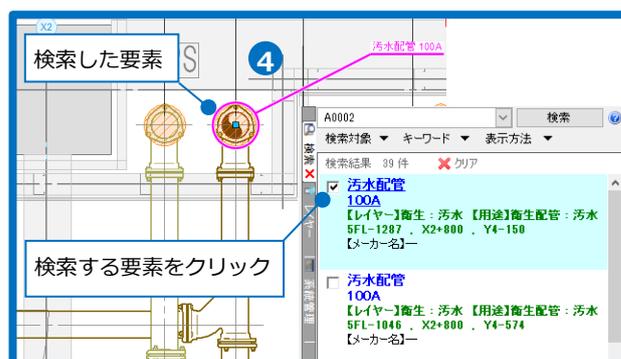
- 2 検索欄にプロパティの値を入力します。



- 3 [検索]をクリックします。
→検索結果を表示します。



- 4 要素名をクリックして要素の位置を確認します。



拾い集計

拾い集計の仕分けにカスタムプロパティの項目を追加すると、カスタムプロパティの値ごとに集計することができます。(拾い集計の出力の詳細については、テクニカルガイド「拾い集計」を参照してください。)

拾い集計表 ××××年×月×日

事務所ビル

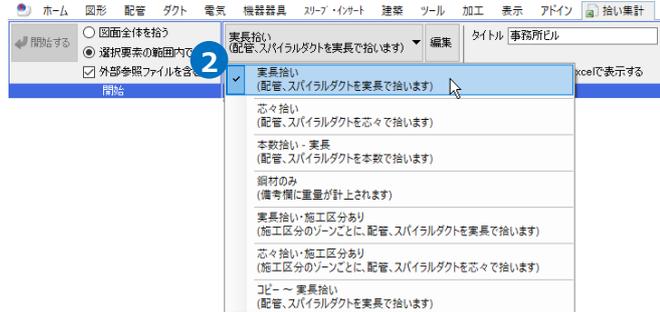
名称	規格	数量	単位	備考
配管				
A0001				
給水				
一般配管用ステンレス鋼管	20Su	3516	mm	
	25Su	11867	mm	
	30Su	1029	mm	
	40Su	3371	mm	
通気				
排水・通気用耐火二層管	50FDP	9160	mm	
	65FDP	3925	mm	
	100FDP	9637	mm	
A0002				
汚水				
排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	80A	4829	mm	
	100A	7953	mm	

カスタムプロパティを仕分けに追加

1 [ツール]タブ-[拾い集計]をクリックします。

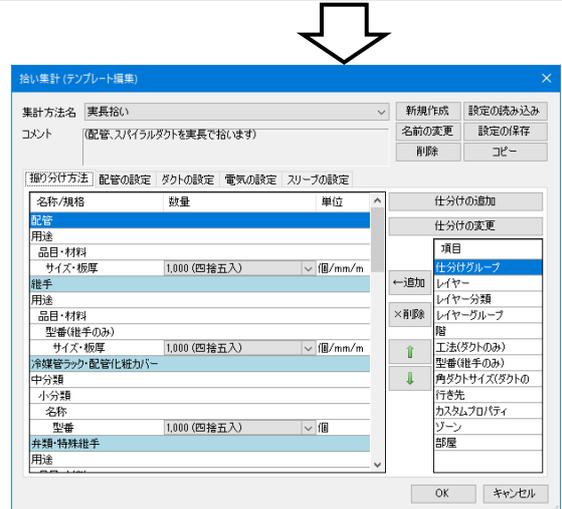
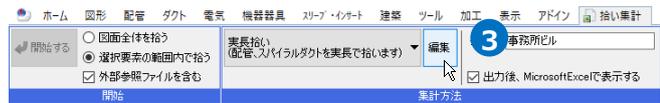


2 集計方法のテンプレートを選択します。

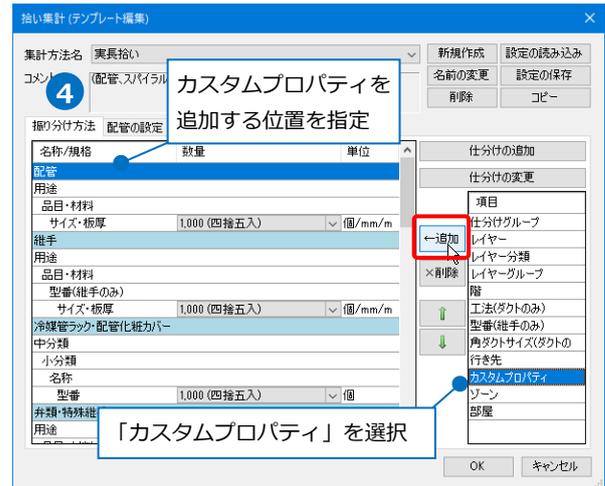


3 [編集]をクリックします。

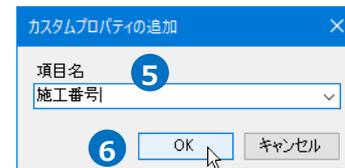
→[拾い集計(テンプレート編集)]ダイアログが開きます。



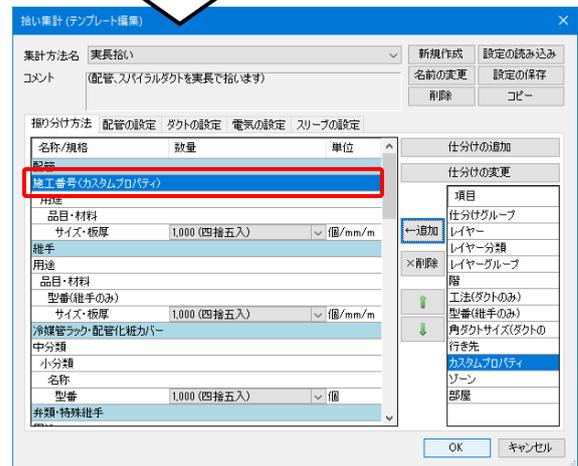
- 4 [振り分け方法]タブで、カスタムプロパティを追加する位置を指定します。
仕分け項目の「カスタムプロパティ」を選択し、「←追加」をクリックします。



- 5 [カスタムプロパティの追加]ダイアログが開きます。追加するプロパティ項目を選択します。

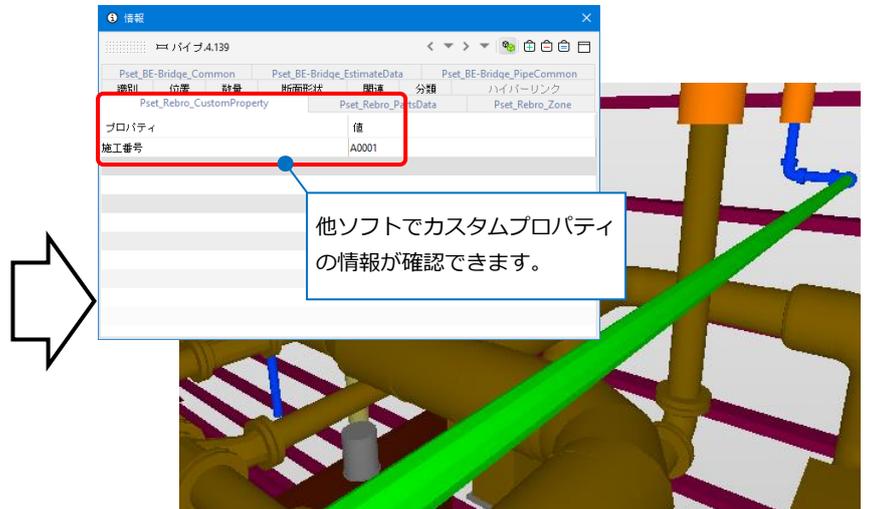


- 6 [OK]をクリックします。
→カスタムプロパティの項目が追加されます。



IFC保存

カスタムプロパティは、プロパティセット名称「Pset_Rebro_CustomProperty」としてIFCファイルに保存されます。

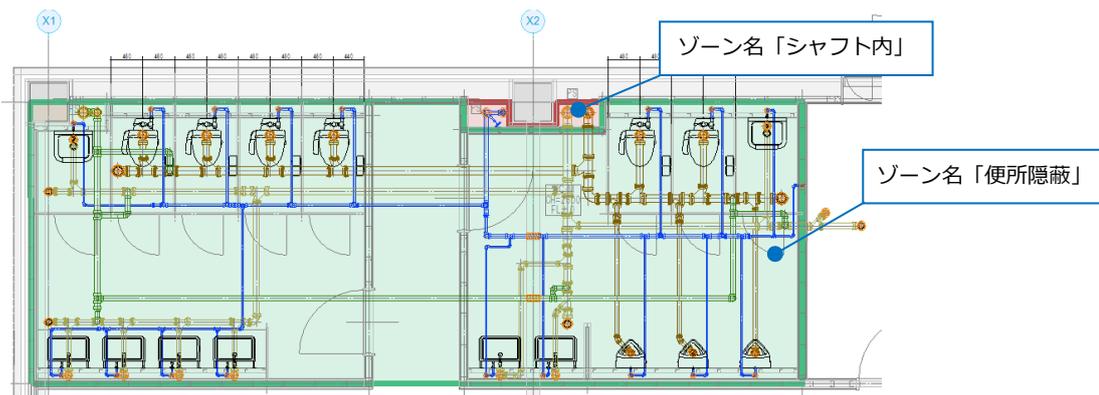


2.ゾーン

施工区分などの空間(ゾーン)を設定することができます。ゾーンやゾーンに属する要素を図面やCG上で色分けして表示することができます。

その他、ゾーンには次のような利用方法があります。

1. ゾーンごとに拾い集計する。
2. 要素の属性情報としてゾーンの情報をIFC、テキストファイルに出力する。



ゾーンの配置

- 1 [ツール]タブ-[ゾーン]をクリックします。



- 2 作図方法を選択します。
ここでは「任意の端点を指定」を選択します。

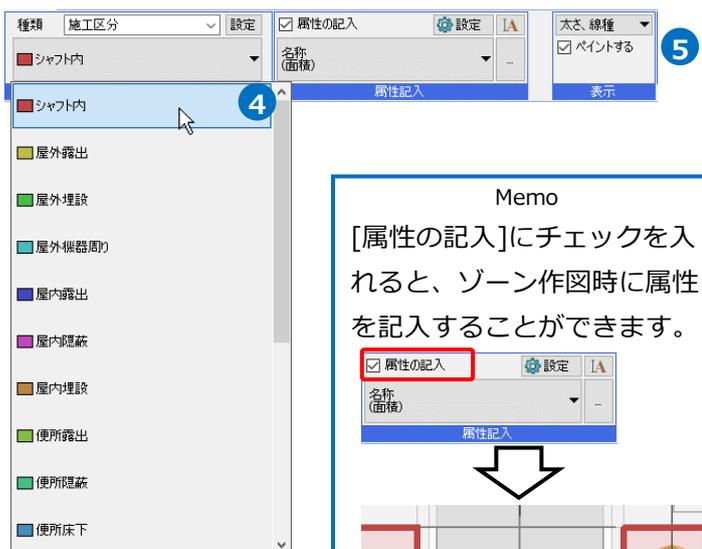


- 3 高さの範囲を入力します。

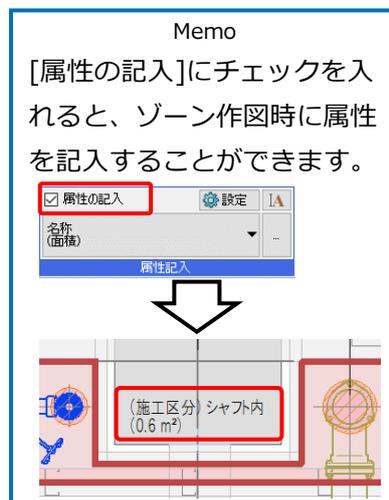


- 4 種類と名称を選択します。

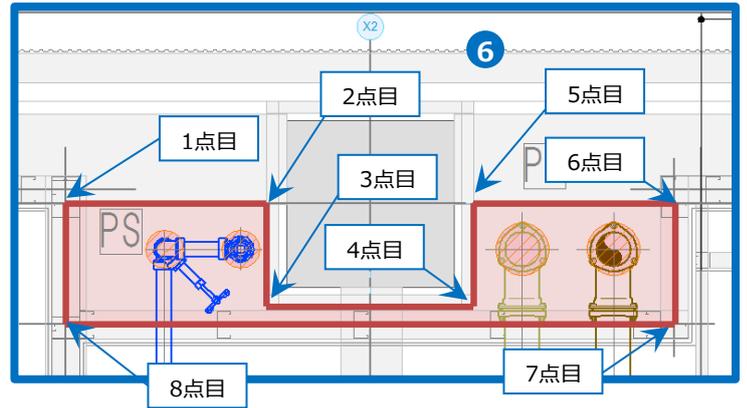
種類「施工区分」
名称「シャフト内」



- 5 ゾーンの範囲を半透明でペイントする場合、「ペイントする」にチェックを入れます。

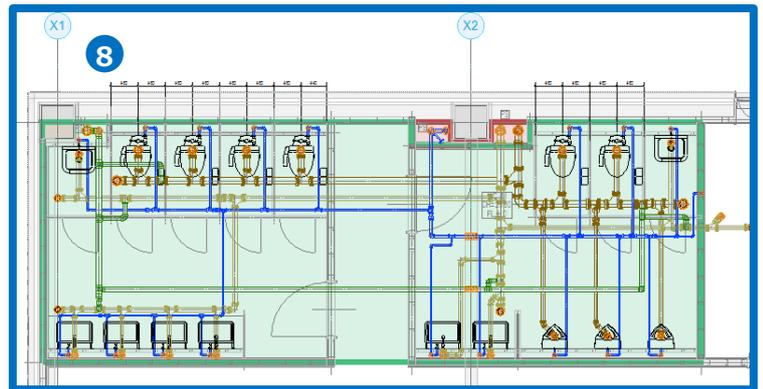


- ⑥ ゾーンの範囲を指定します。
パイプシャフトの範囲の頂点をクリックします。



- ⑦ コンテキストメニューから[確定]をクリックします。
→指定した範囲にゾーンが配置されます。

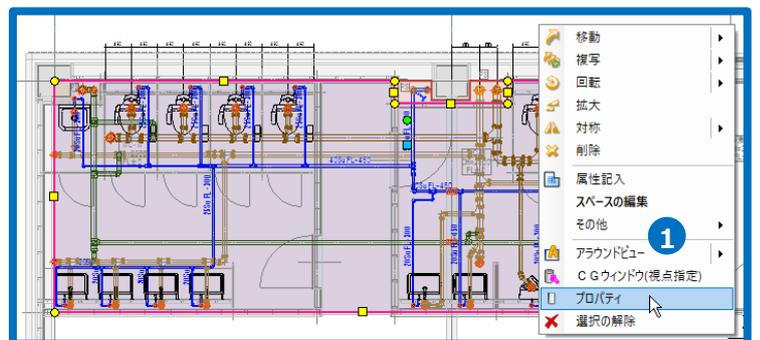
- ⑧ 同様に異なる名称のゾーンも配置します。



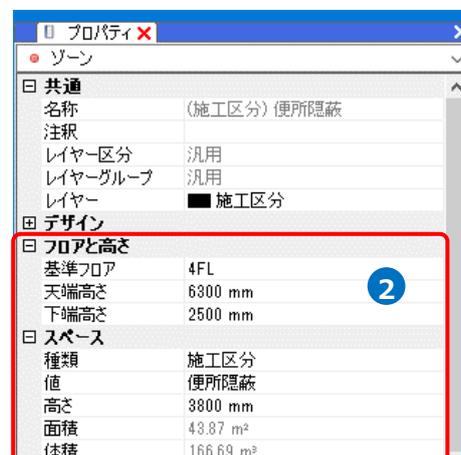
ゾーン情報の変更

ゾーン情報をプロパティで変更することができます。

- ① ゾーンを選択し、コンテキストメニューから[プロパティ]をクリックします。



- ② プロパティでゾーンの種類、高さなどを変更します。

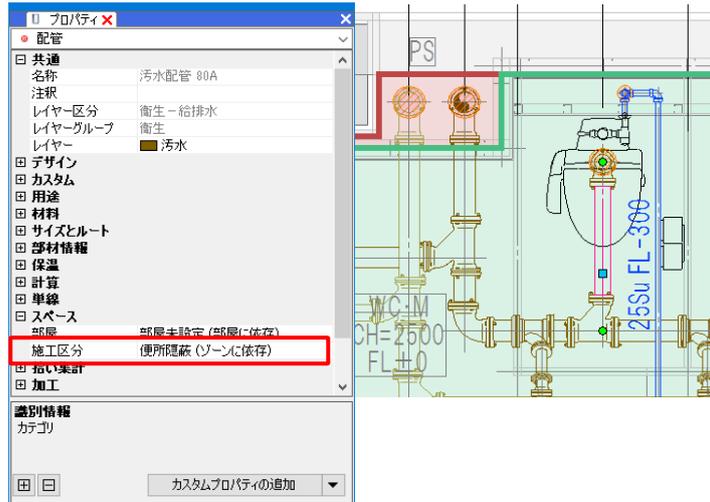


要素のゾーン情報

配置したゾーンを通過する配管やダクト、機器などにはゾーンの情報が設定され、ゾーンごとに拾い分けことができます。プロパティには、「(ゾーンに依存)」と表示されます。

Memo

[プロパティ]から手動で要素ごとにゾーンの値を変更することも可能です。



ゾーンの設定

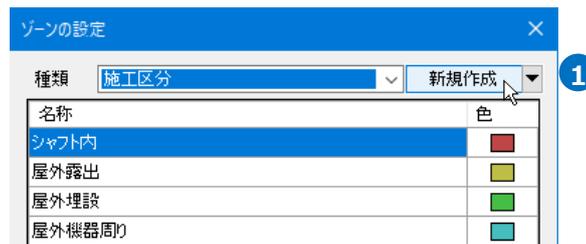
[ツール]タブ-[ゾーン]の[設定]をクリックし、[ゾーンの設定]ダイアログからゾーンの種類の追加や編集を行うことができます。



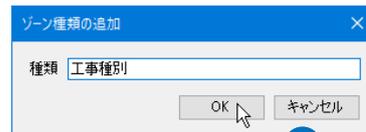
種類の新規作成

ゾーンの種類を新たに作成します。

- 1 [新規作成]をクリックします。
→[ゾーン種類の追加]ダイアログが開きます。



- 2 [ゾーン種類の追加]ダイアログで追加する種類の名前を入力し、[OK]をクリックします。
→種類が追加されます。



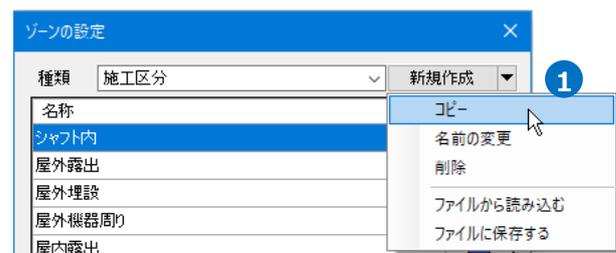
- 3 追加した種類に名称を追加します。
(名称の追加方法は、p.17を参照)



種類のコピー

既存の種類をコピーして追加します。

- 1 [ゾーンの設定]ダイアログより[新規作成]横の▼をクリックし、[コピー]をクリックします。
→[ゾーン種類の追加]ダイアログが開きます。



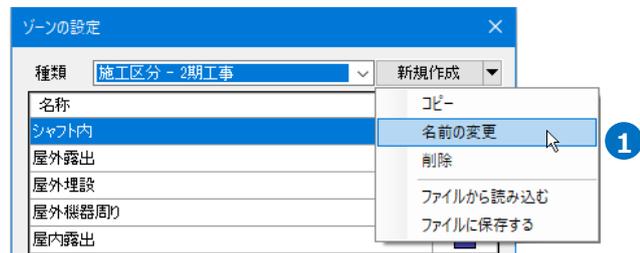
- 2 [ゾーン種類の追加]ダイアログで追加する種類の名前を入力し、[OK]をクリックします。
→コピー元と同じ名称を持つ種類が追加されます。



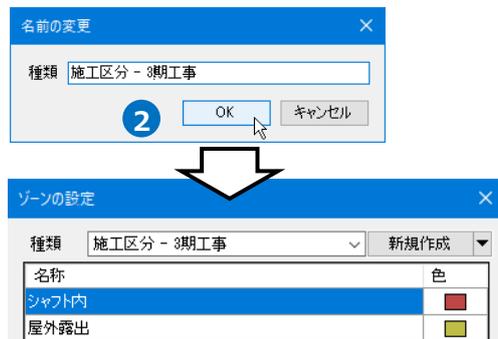
種類の名前を変更

作成した種類の名前を変更します。

- 1 [ゾーンの設定]ダイアログより[新規作成]横の▼をクリックし、[名前の変更]をクリックします。
→[名前の変更]ダイアログが開きます。

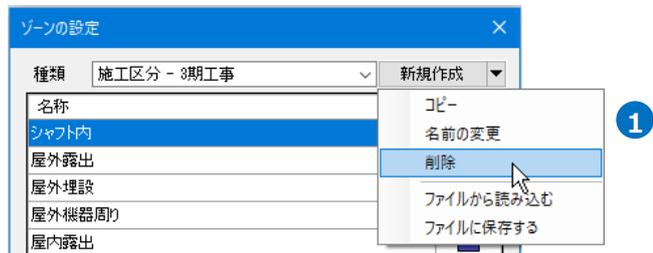


- 2 [名前の変更]ダイアログで名前を入力し、[OK]をクリックします。
→入力した名前に変わります。

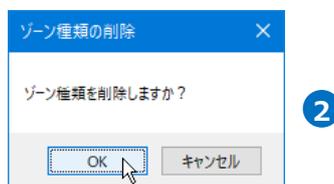


種類の削除

- 1 [ゾーンの設定]ダイアログより削除する種類を選択し、[新規作成]横の▼から[削除]をクリックします。

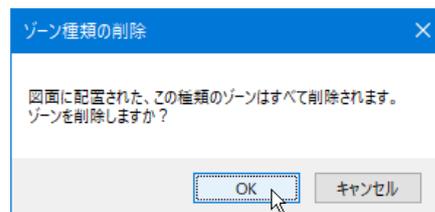


- 2 [ゾーン種類の削除]ダイアログで[OK]をクリックします。
→ゾーンが削除されます。



Memo

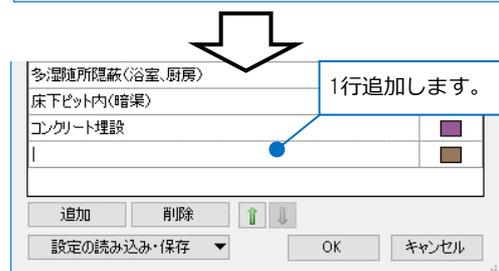
図面に削除するゾーンが配置されている場合、ダイアログに確認のメッセージが表示されます。[OK]をクリックすると、同じ種類のゾーンはすべて削除されます。



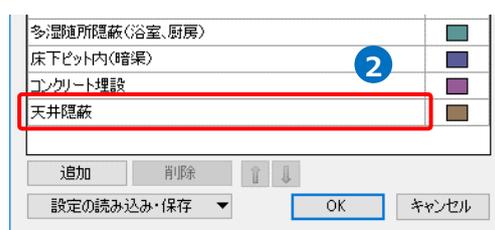
名称を追加

- 1 [ゾーンの設定]ダイアログより[追加]をクリックします。

→末尾に一行追加されます。



- 2 追加された行の[名称]欄で名前を入力します。



- 3 [色]欄で色を選択します。



名称を削除

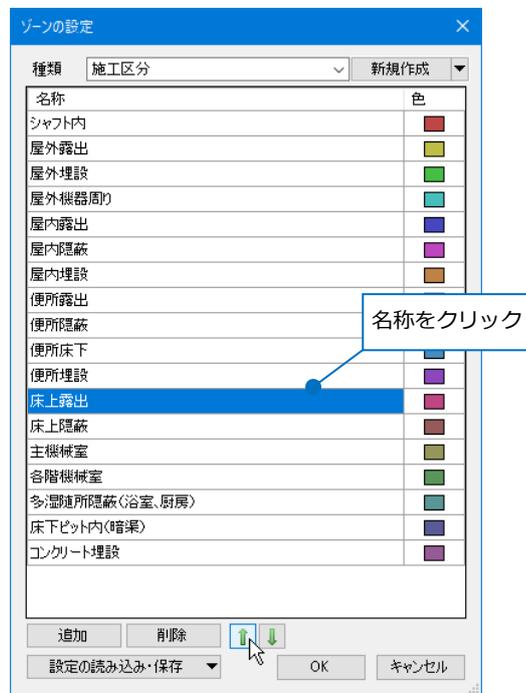
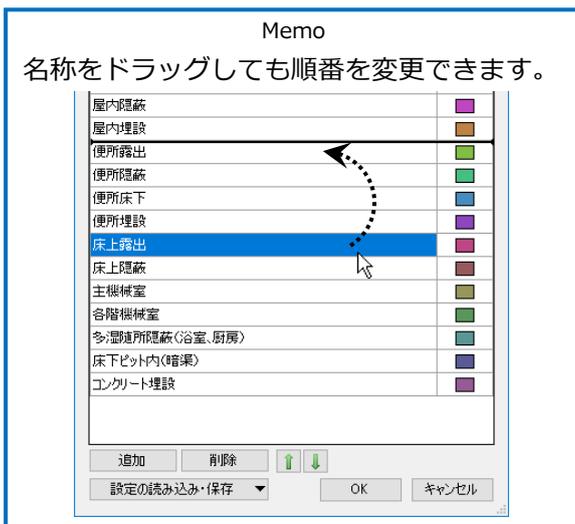
[ゾーンの設定]ダイアログより名称を指定し、
[削除]をクリックします。
→名称が削除されます。



名称の表示順の変更

名称の表示順を変更します。拾い集計の際の並び順や優先順位(p.25参照)に反映されます。

[ゾーンの設定]ダイアログより変更する名称を指定し、矢印をクリックします。
→表示順が変更されます。

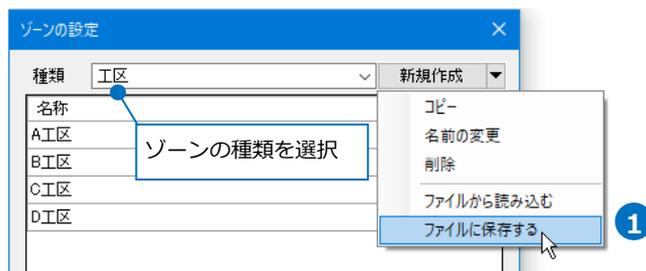


設定ファイルの保存・読み込み

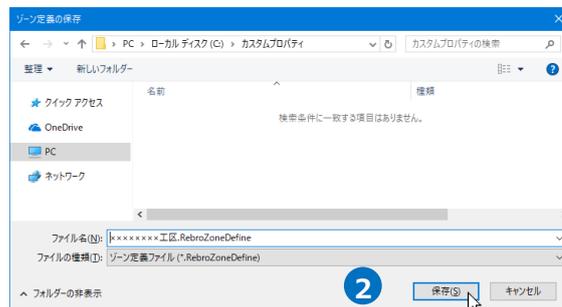
ゾーンは図面ごとに設定します。設定したゾーンを他の図面で利用するには設定ファイルを作成します。

設定ファイルを保存する

- 1 保存するゾーンの種類を選択し、[ゾーンの設定]ダイアログの[新規作成]横の▼をクリックし、[ファイルに保存する]をクリックします。
→[ゾーン定義の保存]ダイアログが開きます。

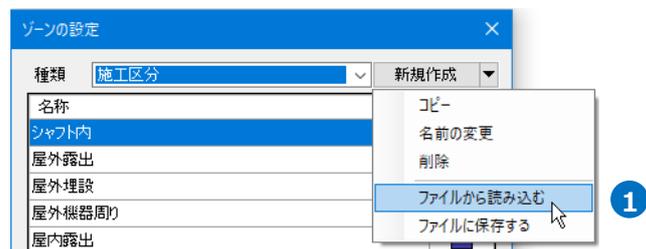


- 2 [ゾーン定義の保存]ダイアログでファイル名を入力し、[保存]をクリックします。
→ゾーンの設定ファイル(*.RebroZoneDefine)を保存します。

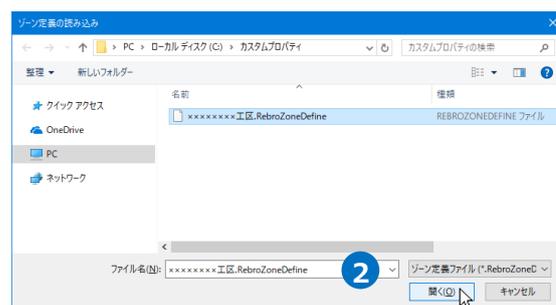


設定ファイルを読み込む

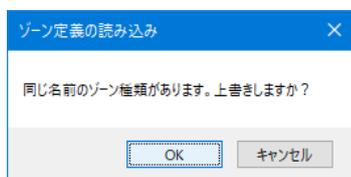
- 1 [ゾーンの設定]ダイアログの[新規作成]横の▼をクリックし、[ファイルから読み込む]をクリックします。
→[ゾーン定義の読み込み]ダイアログが開きます。



- 2 [ゾーン定義の読み込み]ダイアログから読み込む設定ファイル(*.RebroZoneDefine)を選択し、[開く]をクリックします。
→ [種類]欄にゾーンが追加されます。



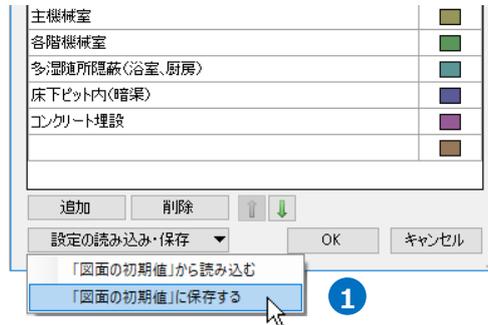
Memo
同名の種類があった場合は、読み込んだ設定内容が追加されます。
種類と名称が同じ項目があった場合、色の設定は上書きされます。



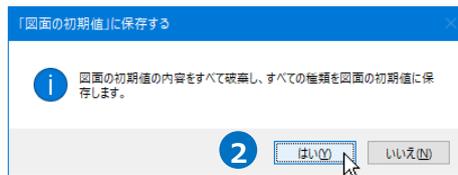
新規図面にゾーンを設定

設定したゾーンを新規図面で使用します。

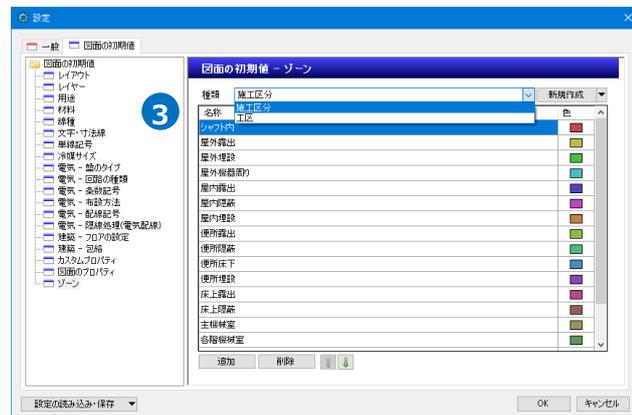
- 1 [ゾーンの設定]ダイアログより[設定の読み込み・保存]－[「図面の初期値」に保存する]をクリックします。
→[「図面の初期値」に保存する]ダイアログが開きます。



- 2 [「図面の初期値」に保存する]ダイアログの[はい]をクリックします。
→図面の初期値に設定が保存されます。



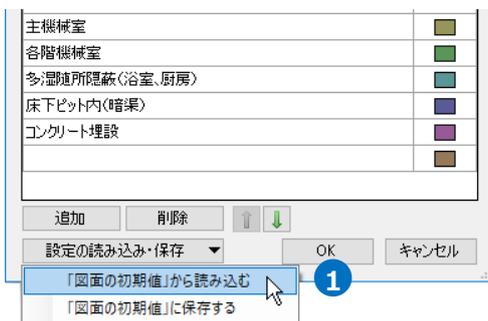
- 3 [設定]の[図面の初期値]タブ－[ゾーン]で保存されたゾーンの設定を確認できます。



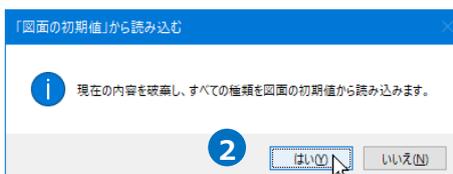
現在の図面にゾーンを反映

図面の初期値に保存したゾーンを現在の図面に反映します。

- 1 [ゾーンの設定]ダイアログより[設定の読み込み・保存]－[「図面の初期値」から読み込む]をクリックします。



- 2 [「図面の初期値」から読み込む]ダイアログの[はい]をクリックします。
→図面の初期値の設定が、現在の図面に読み込まれます。



Memo

図面の初期値にない種類、名称のゾーンが図面上で作図されている場合、ゾーン要素も削除されます。

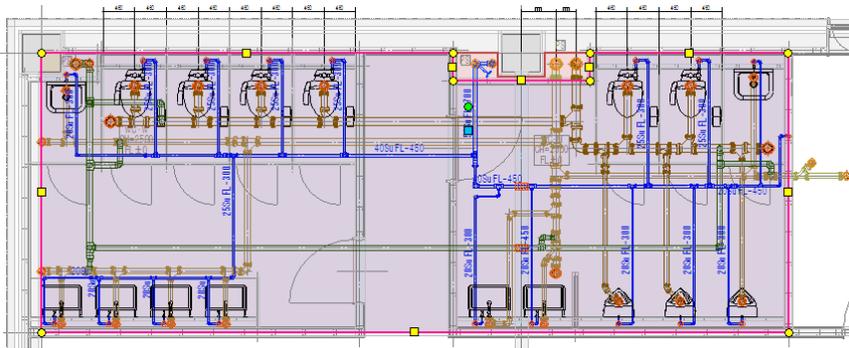
ゾーンの範囲変更

作図したゾーンの範囲を変更します。

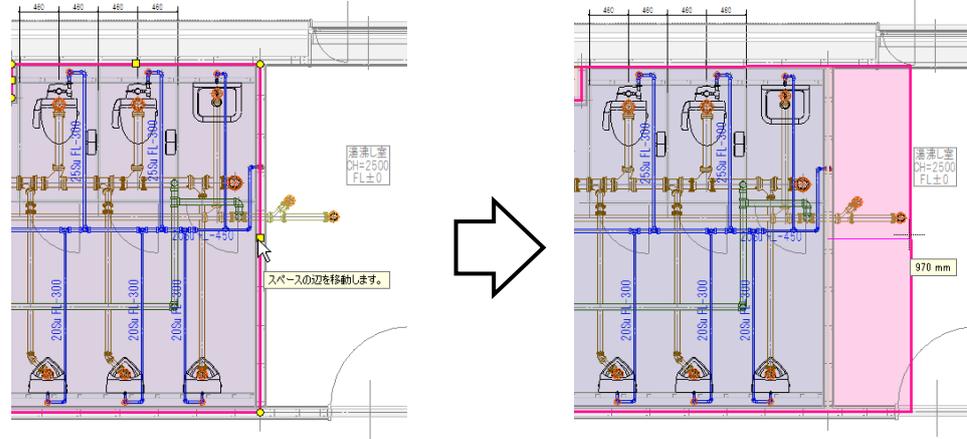
ハンドルで編集

1 編集するゾーンをクリックします。

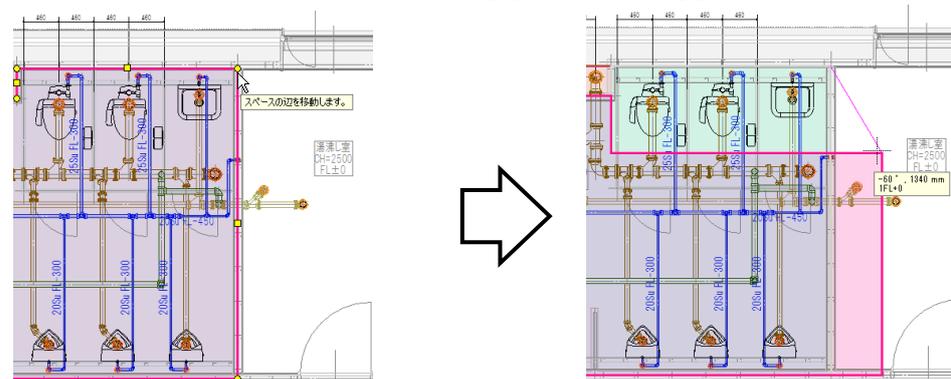
→ゾーンの頂点と側面にハンドルが表示されます。



2 側面のハンドルをクリックすると、辺を移動して範囲を変更します。

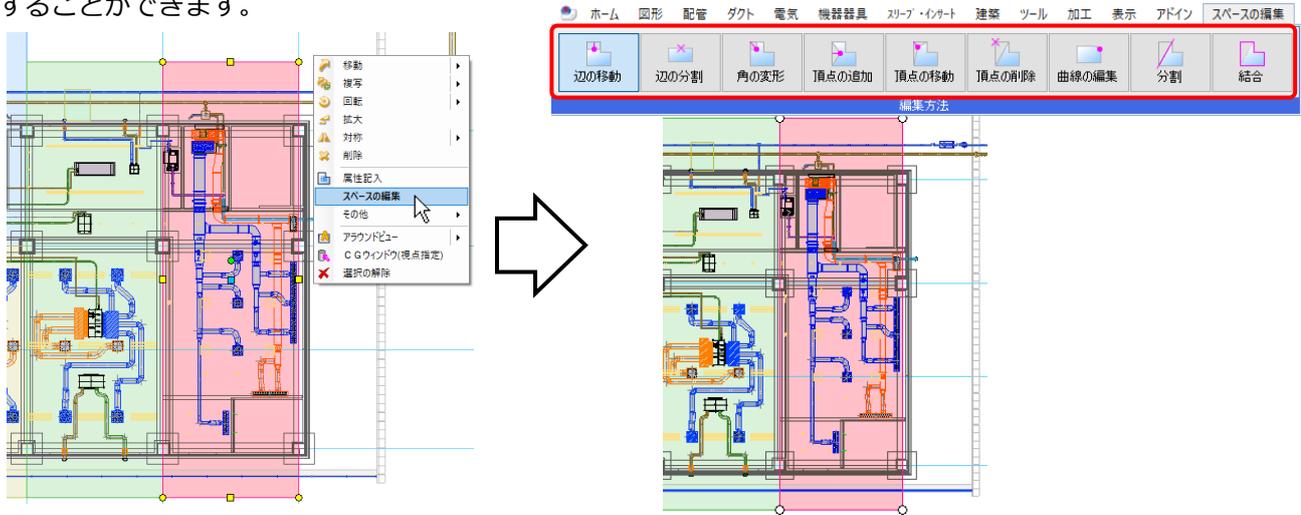


3 頂点のハンドルをクリックすると、角を変形して範囲を変更します。



[スペースの編集]コマンドで編集

編集するゾーンを選択し、コンテキストメニューから[スペースの編集]をクリックすると、編集方法を選択することができます。



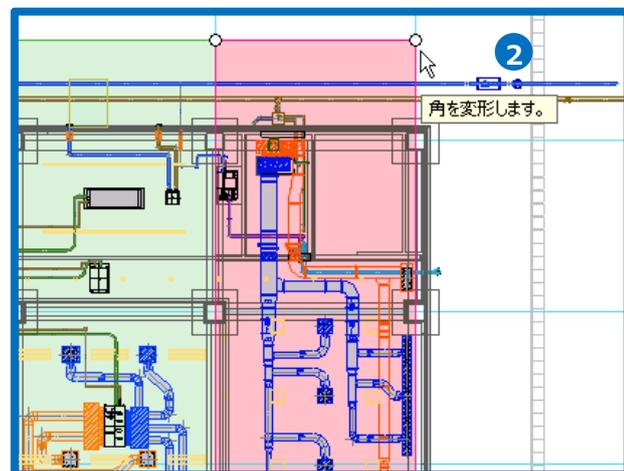
辺の移動	移動する辺もしくは、頂点のハンドルを選択し、辺を移動します。
辺の分割	分割する辺のハンドルを選択し、辺上で分割する位置を指定します。
角の変形	頂点のハンドルを選択し、変形位置を指定します。頂点を挟む両側の辺を同時に移動します。
頂点の追加	頂点を追加する辺のハンドルを選択し、頂点の位置を任意の位置で指定します。
頂点の移動	頂点のハンドルを選択し、位置を指定します。指定した位置に頂点を移動します。
頂点の削除	頂点のハンドルを選択します。選択した頂点を削除します。
曲線の編集	頂点のハンドルを選択します。選択した頂点の形状(円弧/角)を切り替えます。曲線の場合は、円弧の半径を変更することができます。
分割	2点の頂点のハンドルを選択し、ゾーンを分割します。
結合	複数のゾーンを選択し、結合します。

(例)頂点を増やして変形

- 1 [角の変形]をクリックします。
→ゾーンの頂点にハンドルが表示されます。

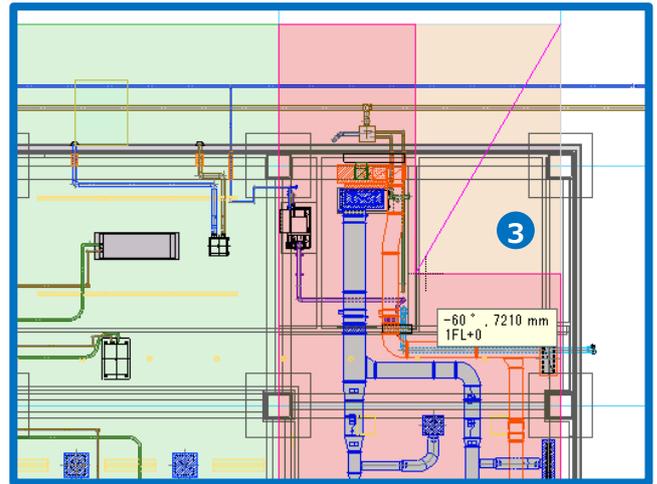


- 2 頂点のハンドルをクリックします。



③ カーソルの位置で頂点を増やして範囲を変形します。

④ コンテキストメニューから[確定]をクリックしてコマンドを終了します。

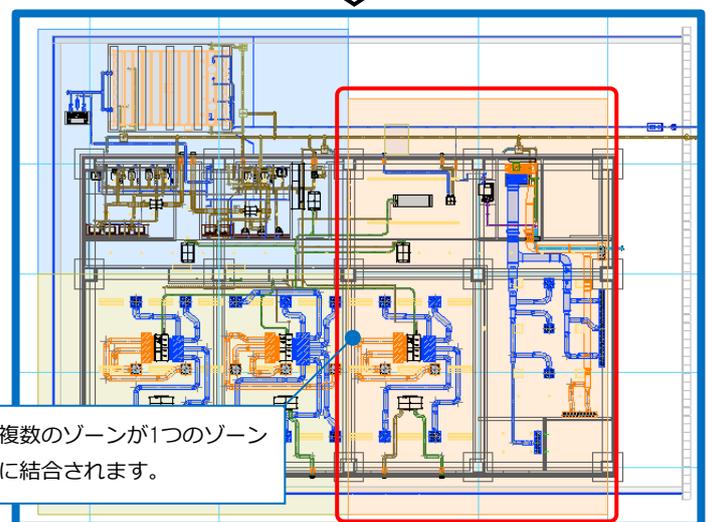
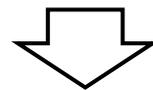
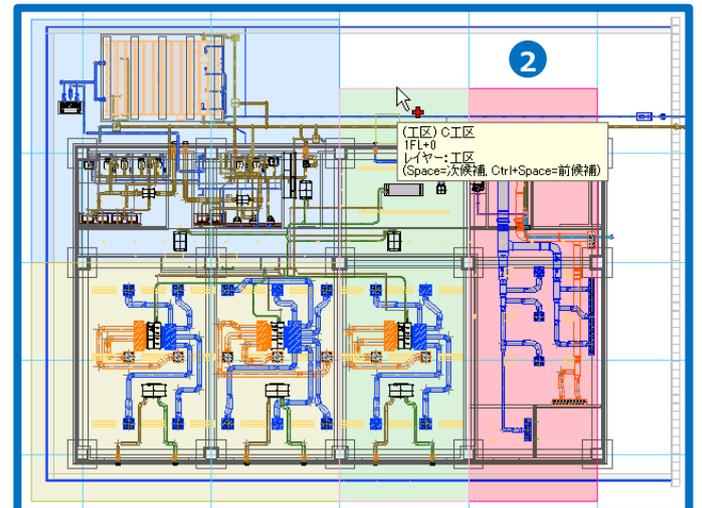


(例)ゾーンの結合

① [結合]をクリックします。



② 結合するゾーンをクリックします。
→選択した複数のゾーンが結合され、一つのゾーンにまとまります。

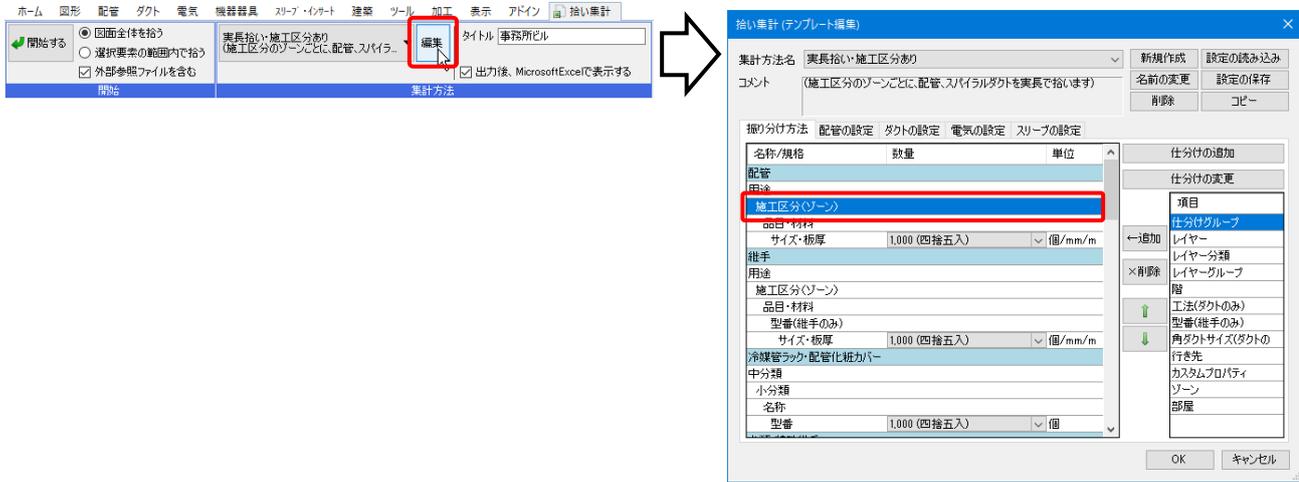


ゾーンの利用

拾い集計

拾い集計の仕分けにゾーンを追加すると、ゾーン単位で集計できます。

(拾い集計の出力についてはテクニカルガイド「拾い集計」を参照してください。)



拾い集計表 2018年10月02日

事務所ビル

ゾーン単位でまとめます。

名称	規格	数量	単位	備考
給水				
シャフト内				
一般配管用ステンレス鋼管	25Su	851	mm	
	30Su	103	mm	
	50Su	2268	mm	
	60Su	2728	mm	
便所隠蔽				
一般配管用ステンレス鋼管	20Su	30513	mm	
	25Su	19617	mm	
	30Su	1029	mm	
	40Su	7209	mm	
	50Su	1161	mm	

● 補足説明

要素のゾーン情報が「(ゾーンに依存)」の場合、複数のゾーンにまたがる配管、ダクト、電気ラック類、電気配線はゾーンごとに集計します。機器や鋼材は基準点を含むゾーンで集計します。

拾い集計表

名称	規格	数量	単位	備考
配管				
A工区				
汚水				
排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	200A	3998	mm	
B工区				
汚水				
排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	200A	3012	mm	
機器・器具				
B工区				
パッケージエアコン	36形	1	台	

スプリンクラーフレキ管、フレキシブルダクトは、作図されたルートが長い方のゾーンにまとめられます。ゾーンが重なっている場合は、[ゾーンの設定]ダイアログの表示順(p.18参照)に合わせて、上位の名称のゾーンに計上されます。(二重で計上されることはありません。)

拾い集計表

名称	規格	数量	単位	備考
配管				
A工区				
汚水				
排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	200A	7000	mm	
機器・器具				
A工区				
パッケージエアコン	36形	1	台	

[ゾーンの設定]で上の名称から順番に優先され、計上されます。



IFC保存

要素のゾーン情報は、プロパティセット名称「Pset_Rebro_Zone」としてIFCファイルに保存されます。

他ソフトでゾーンの情報が確認できます。

Memo

ゾーン要素は、「IfcZone」としてIFCファイルに保存することができます。

3. 系統管理

図面上の要素を階層分けにして管理をすることができます。カスタムプロパティの項目やゾーンごとに階層分けをしたり、系統の確認をすることができます。また、階層に属する要素ごとに点滅させたり、図面やCGで色分けをして確認することができます。

系統管理パネル

[表示]タブ-[パネル]-[系統管理]をクリックし、[系統管理]パネルを開きます。



[分類]ごとにフォルダで階層分けをし、図面上の要素をフォルダ単位で分けて管理することができます。

系統管理

分類 フロア+部屋 追加

- 全体 (10235)
 - 1FL (2183)
 - 2FL (1723)
 - 3FL (1913)
 - 4FL (1916)
 - 事務室 (65)
 - 配管 (7)
 - ダクト・制気口 (21)
 - レジスター (7)
 - アネモ (14)
 - 電気・ケーブルラック (2)
 - ケーブルラック (2)
 - 機器・器具 (32)
 - 照明器具 (25)
 - 電気器具 (5)
 - 盤類 (2)
 - 機器・器具・ユーザー部材 (3)
 - ファン類(ユーザー部材) (3)
 - 廊下 (18)
 - ホール (81)
 - 会議室 (11)
 - 湯沸室 (7)
 - WC/M (110)
 - WC/W (108)

色分け 点滅表示

機器番号	名称
HEX-1	ロスナイ(天井カセット形) L...
HEX-1	ロスナイ(天井カセット形) L...
HEX-1	ロスナイ(天井カセット形) L...

すべて選択 すべて解除 プロパティ表示

詳細表示

分類を選択します。

フォルダで階層分けをします。各フォルダに含まれる要素の数を確認することができます。

フォルダごとに色を設定することができます。

選択したフォルダに含まれる要素のプロパティ情報を確認することができます。

プロパティ情報の表示・非表示の切り替えができます。

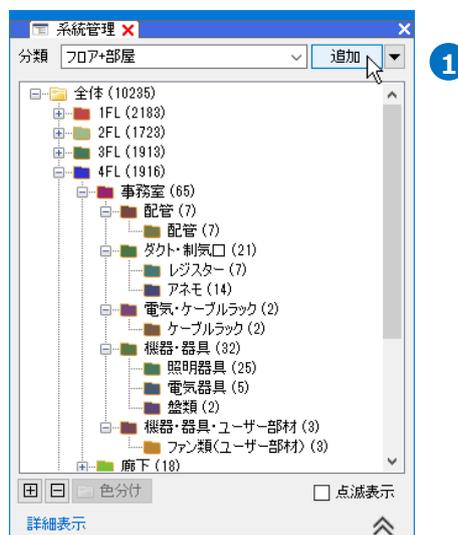
表示するプロパティ項目の変更ができます。

分類の追加

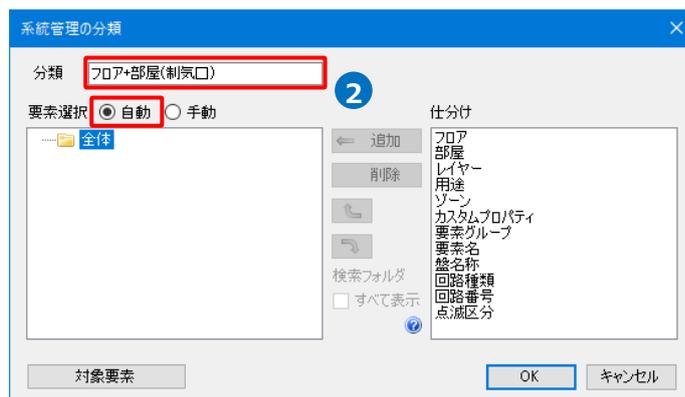
自動要素選択

指定した仕分け項目により自動で図面内の要素を階層分けします。

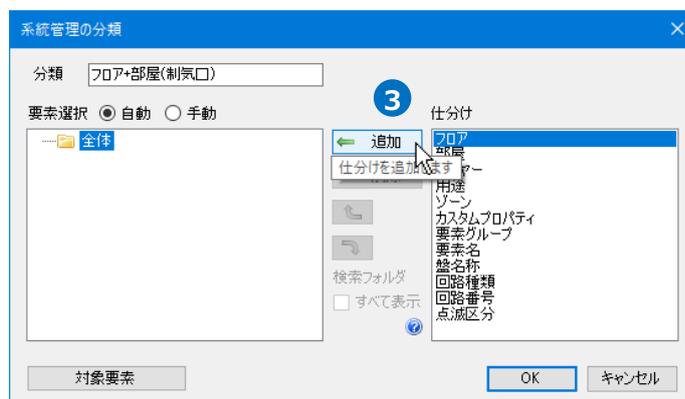
- 1 [システム管理]パネルの[追加]をクリックします。



- 2 分類名を入力し、[要素選択]を「自動」にします。

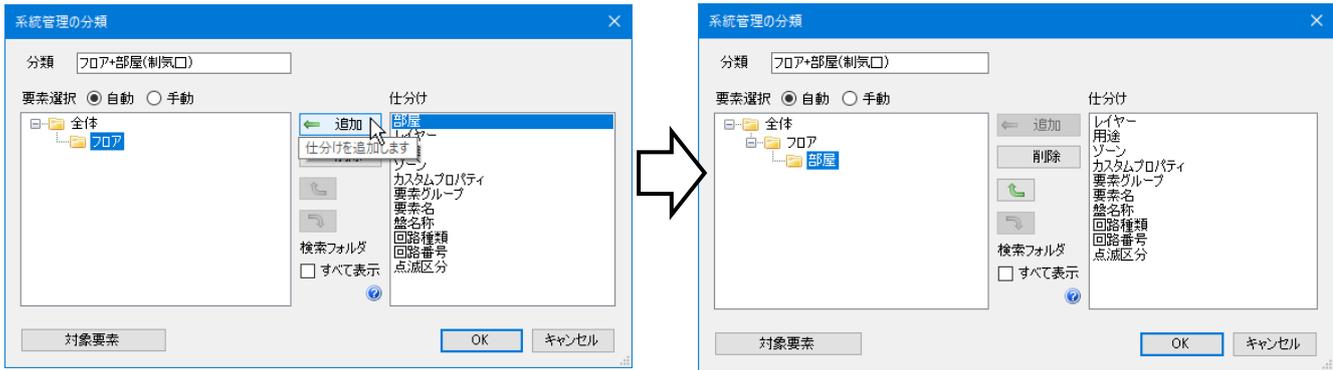


- 3 [仕分け]から階層分けしたい項目を選択し、[追加]をクリックします。
→選択した仕分け項目が「全体」フォルダの下に階層に作成されます。

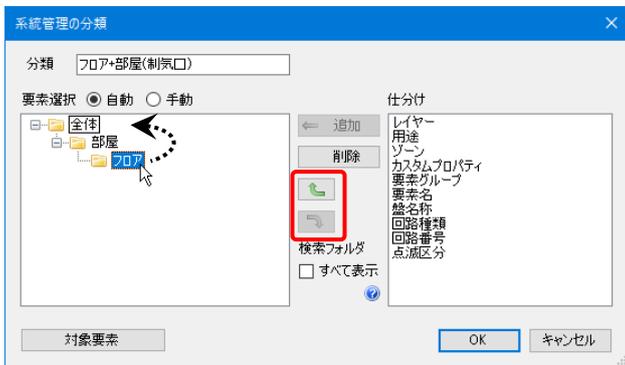


● 補足説明

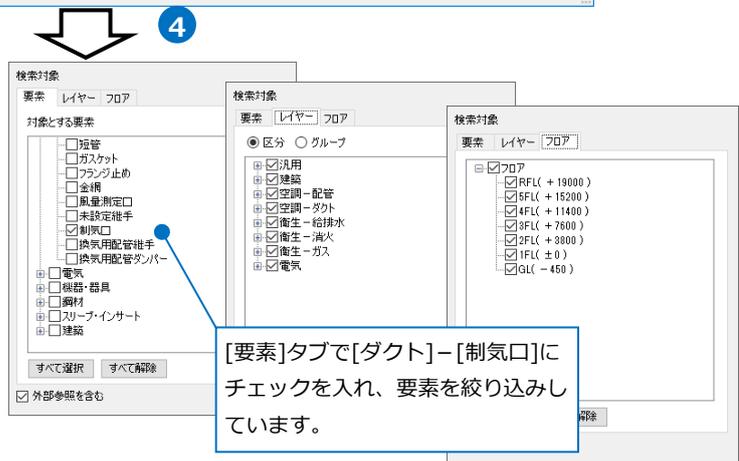
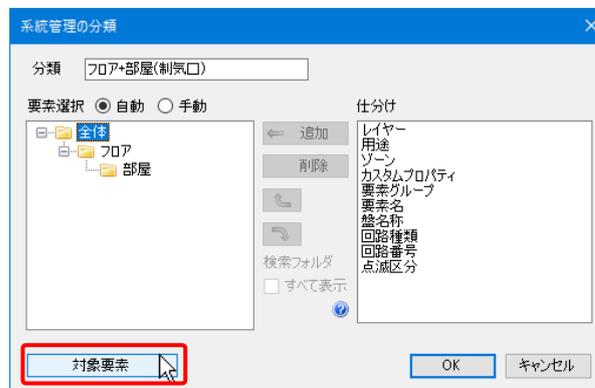
仕分けの項目は、指定しているフォルダの下に追加されます。



矢印または、フォルダをドラッグして階層の順番を変更することができます。

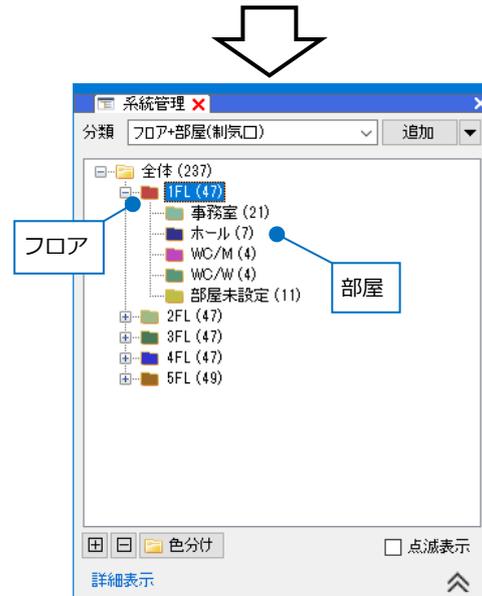
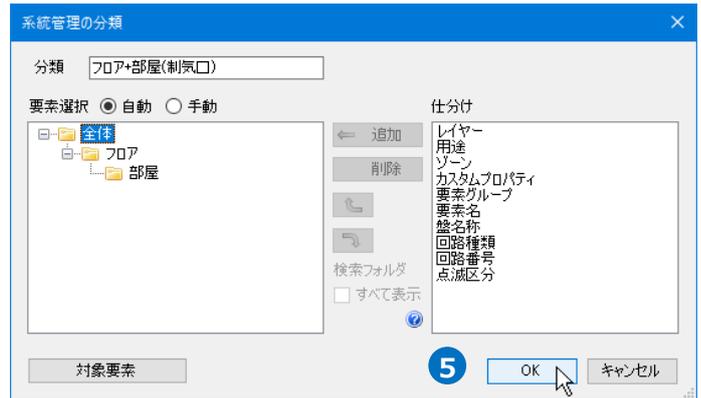


- 4 仕分けする要素を絞り込む場合は、[対象要素]をクリックします。
[要素][レイヤー][フロア]ごとに絞り込むことができます。



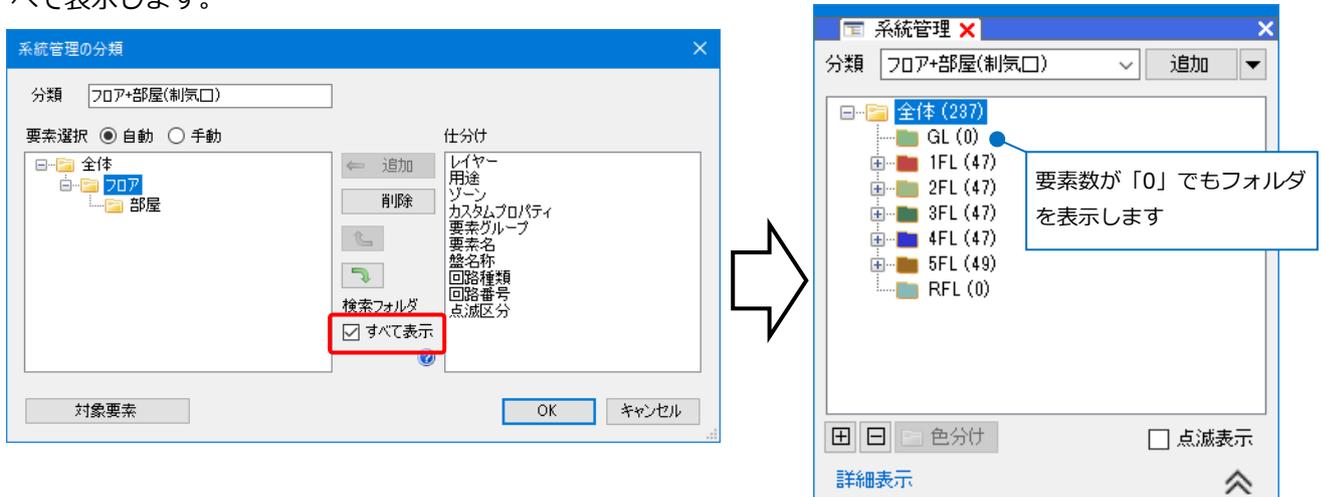
5 [OK]をクリックします。

→[システム管理]パネルに対象要素が階層分けされて表示されます。



● 補足説明

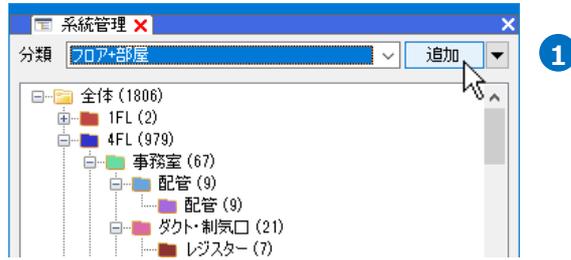
[検索フォルダ]-[すべて表示]にチェックを入れると、選択した仕分け項目の中に要素がないフォルダもすべて表示します。



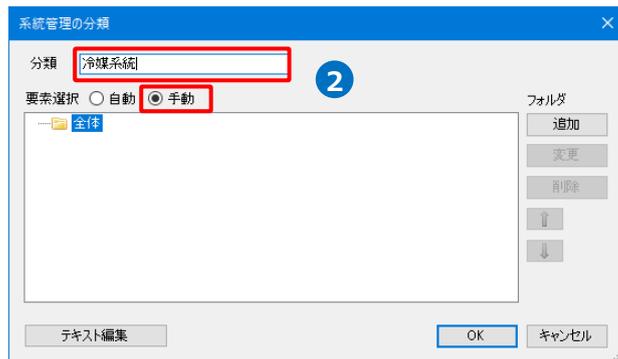
手動選択

仕分けの項目名を自由に作成し、項目に含まれる要素を図面上から選択して階層分けを手動で行います。

- 1 新規で分類を作成します。
[追加]をクリックします。



- 2 分類名を入力し、[要素選択]を「手動」にします。



- 3 [フォルダ]-[追加]をクリックし、仕分けするフォルダ名を入力します。

Memo

[テキスト編集]をクリックすると、[テキスト編集]ダイアログ上で仕分け項目を作成することができます。

系統管理の分類

分類 系統

要素選択 自動 手動

フォルダ

追加

変更

削除

↑

↓

テキスト編集

テキスト編集

1FL冷媒系統

2FL冷媒系統

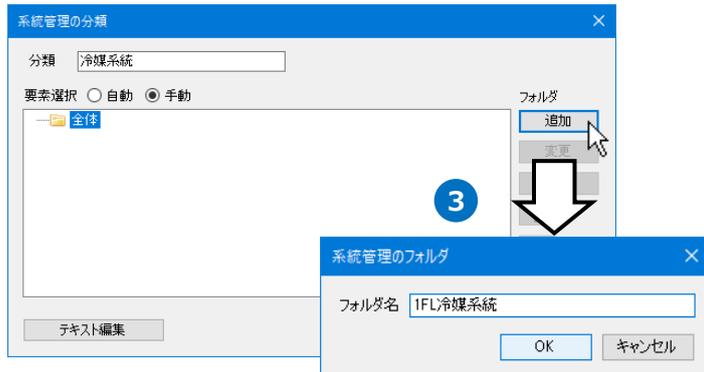
3FL冷媒系統

4FL冷媒系統

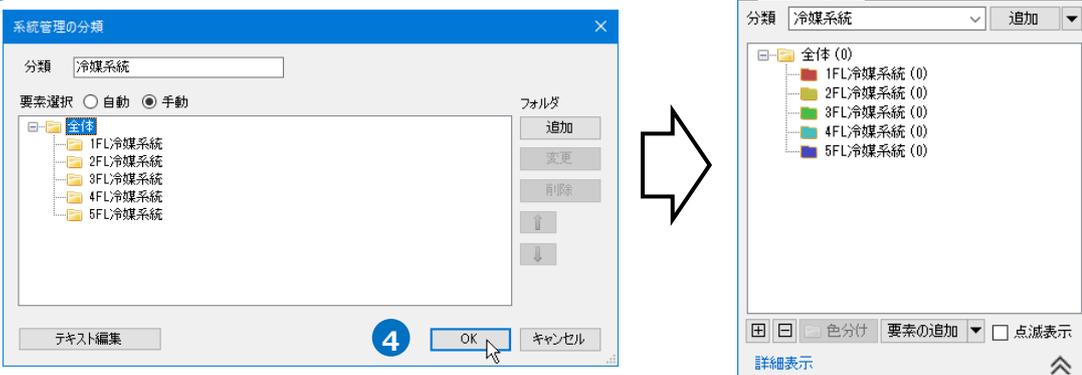
5FL冷媒系統

OK

キャンセル

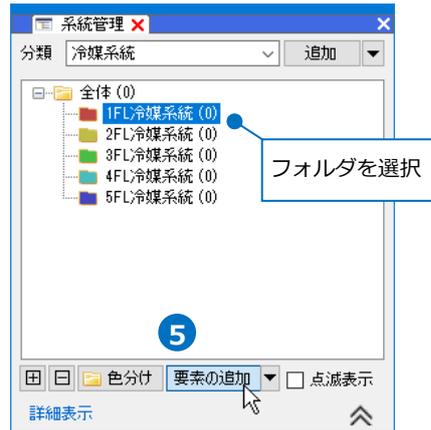


- 4 [OK]をクリックします。

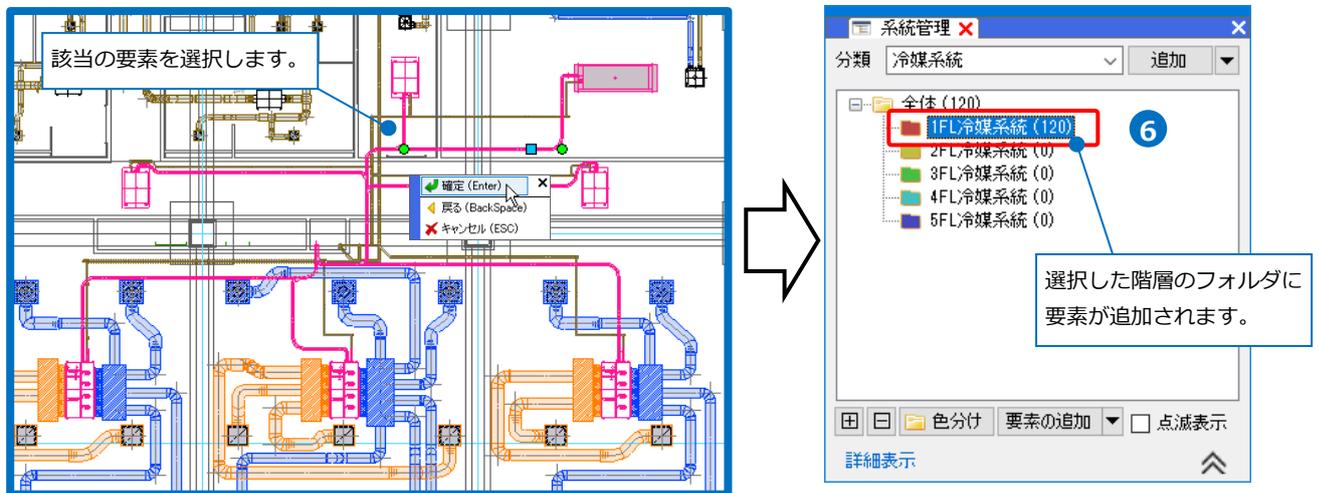


- 5 作成した各仕分けの項目(フォルダ)に含む
該当の要素を指定します。

[システム管理]パネルで要素を追加するフォルダ
を選択し、[要素の追加]をクリックしま
す。

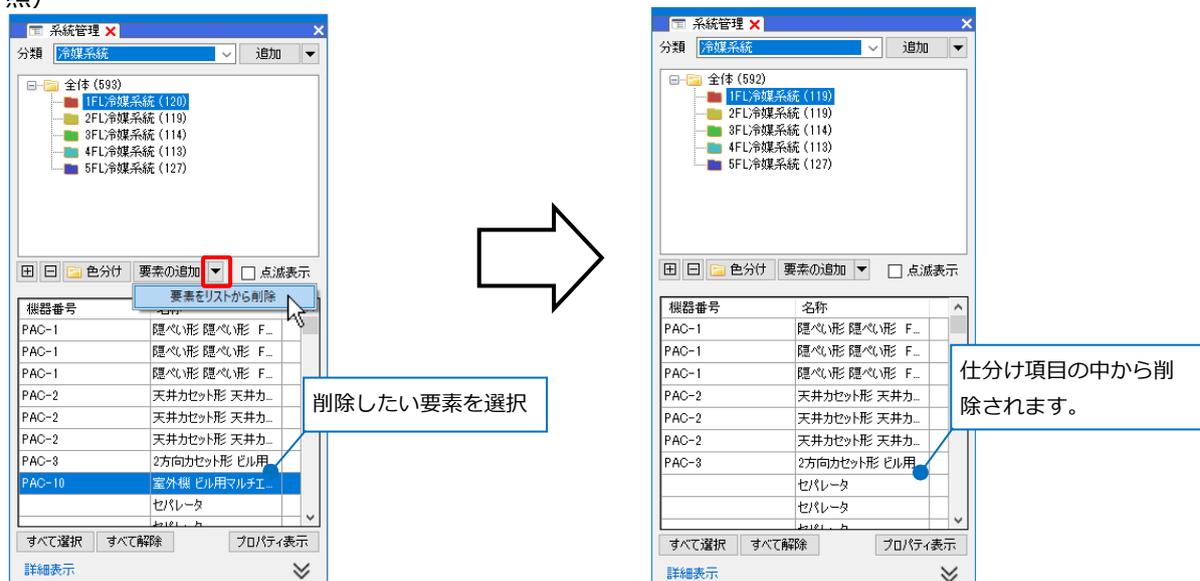


- 6 図面上で該当の要素を選択します。
→選択した仕分けの項目に要素が追加され
ます。



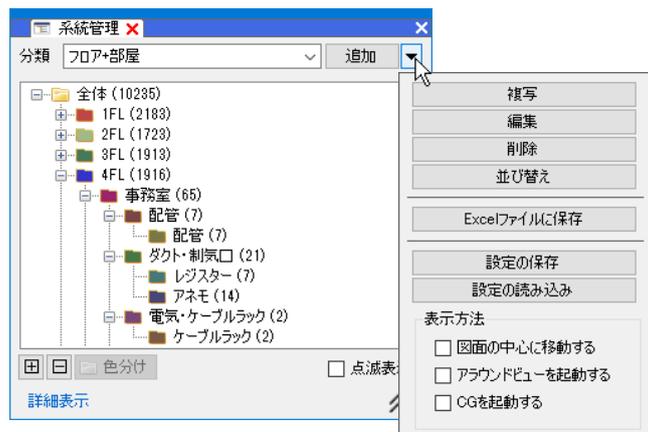
● 補足説明

追加した要素を仕分け項目の中から削除する場合は、削除したい要素を[詳細表示]のプロパティ情報から選
択し、[要素の追加]横の▼から[要素をリストから削除]をクリックします。(詳細表示については、p.35を参
照)



系統管理の編集

系統管理パネルの[追加]横の▼から選択した系統管理の分類について編集が行えます。

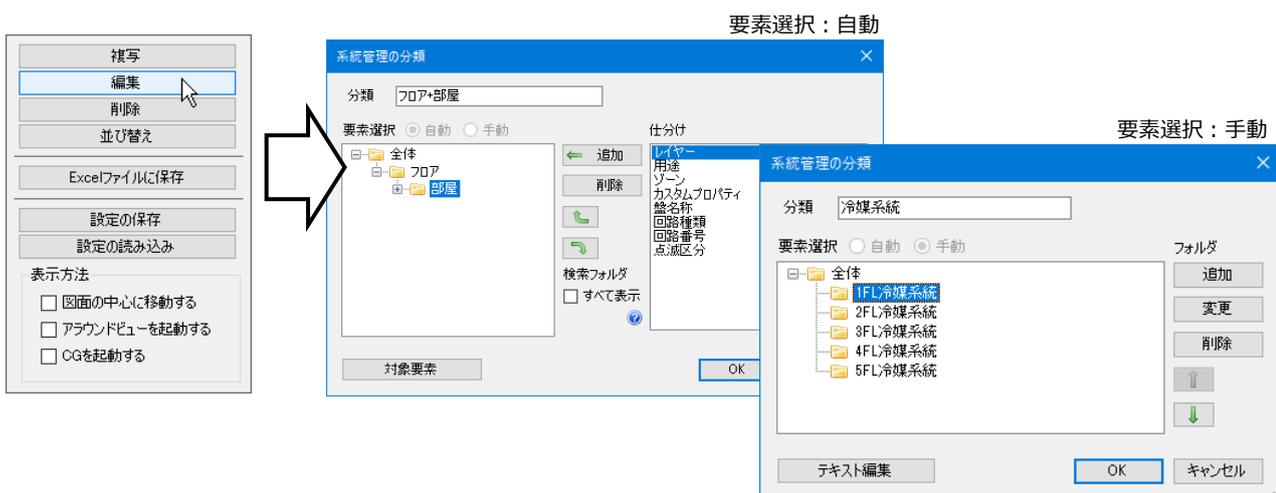


分類の編集

編集

[編集]をクリックし、作成した分類の設定を[系統管理の分類]ダイアログで変更することができます。

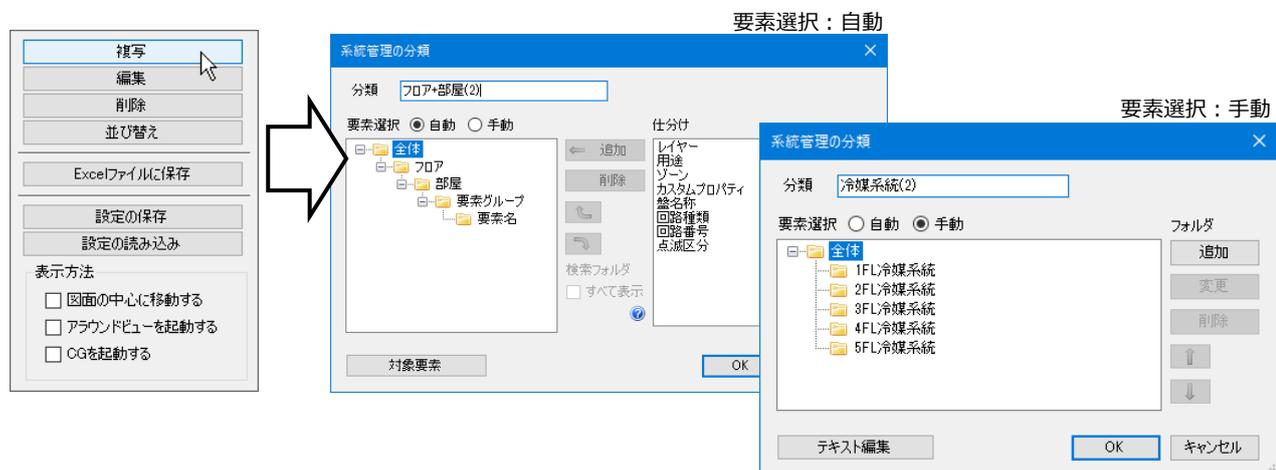
([系統管理の分類]ダイアログの操作方法についてはp.27～31を参照)



複製

[複製]をクリックし、作成した分類を複製し、新たに追加することができます。

([系統管理の分類]ダイアログの操作方法についてはp.27～31を参照)



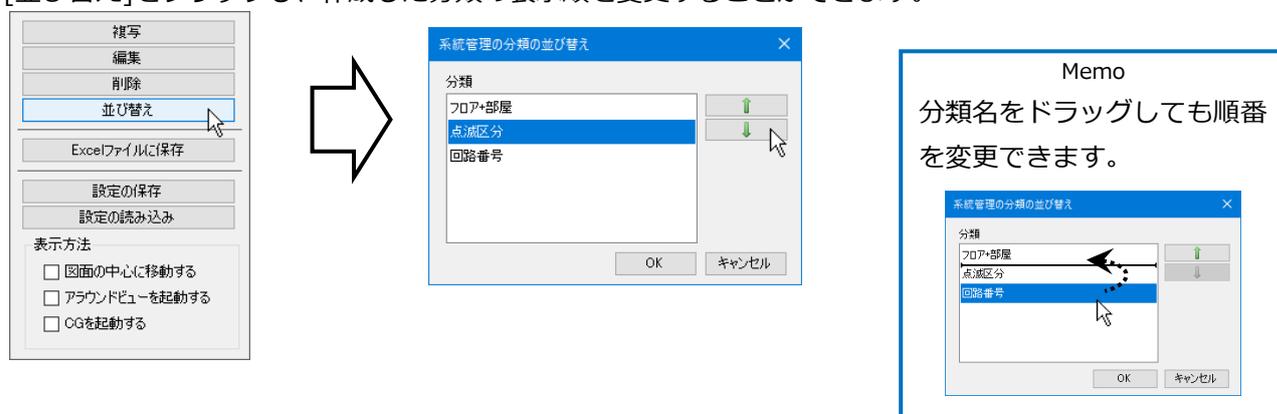
削除

[削除]をクリックし、作成した分類を削除することができます。



表示順の変更

[並び替え]をクリックし、作成した分類の表示順を変更することができます。



設定ファイルの保存・読み込み

システム管理の設定は図面ごとに設定します。分類を他の図面で利用するには、設定ファイルを作成します。

設定ファイルを保存する

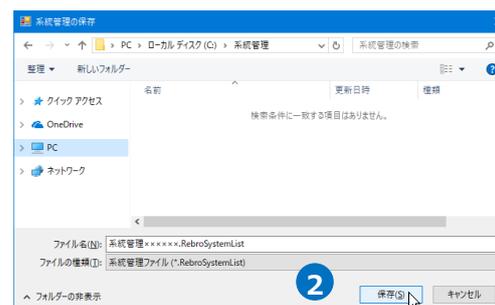
- 1 [設定の保存]をクリックし、[システム管理の設定の保存]ダイアログより設定を保存したい分類を選択します。

→[システム管理の保存]ダイアログが開きます。



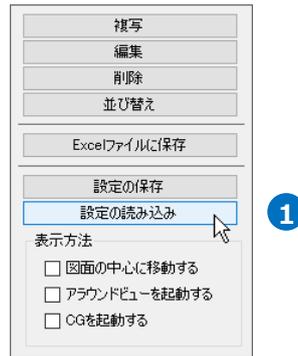
- 2 [システム管理の保存]ダイアログでファイル名を入力し、[保存]をクリックします。

→システム管理の設定ファイル(*.RebroSystemList)を保存します。

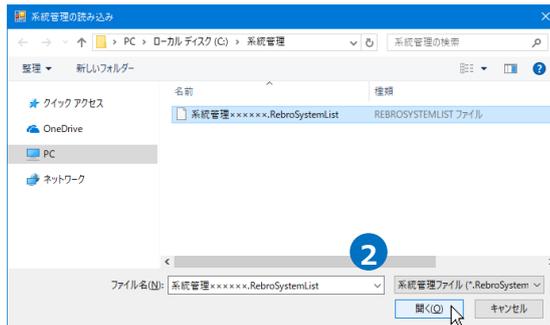


設定ファイルを読み込む

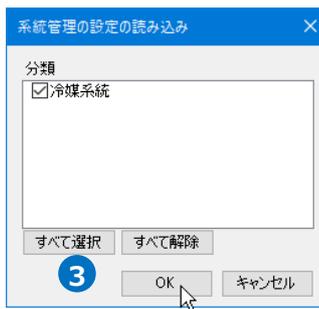
- 1 [設定の読み込み]をクリックします。
→[システム管理の読み込み]ダイアログが開きます。



- 2 [システム管理の読み込み]ダイアログから読み込む設定ファイル(*.RebroSystemList)を選択し、[開く]をクリックします。
→[システム管理の設定の読み込み]ダイアログが開きます。



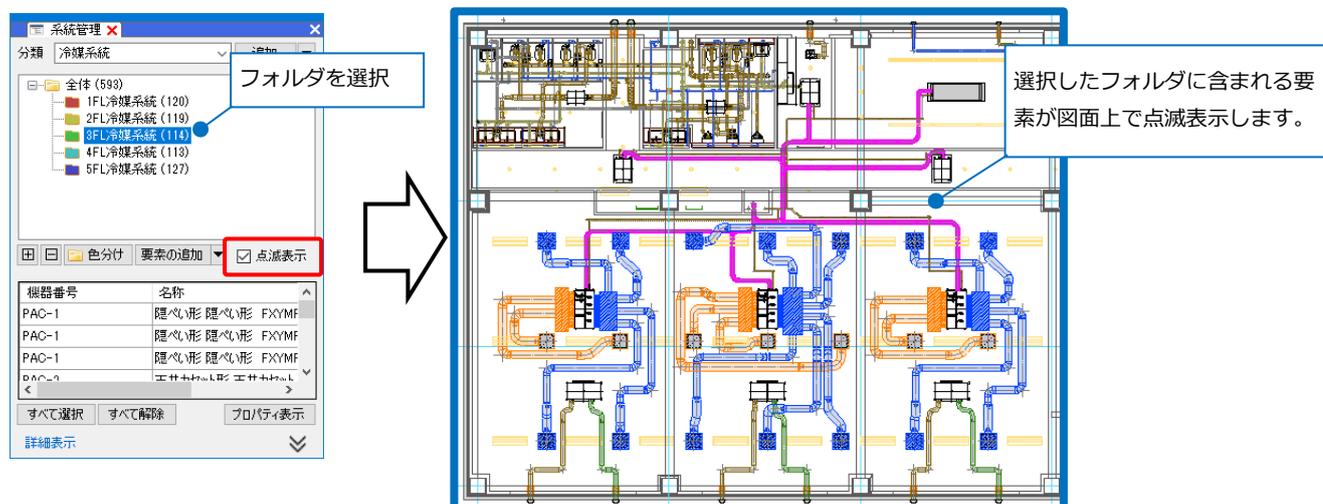
- 3 読み込む分類を選択し、[OK]をクリックします。
→システム管理の分類が追加されます。



システム管理の利用

点滅表示

システム管理パネルの[点滅表示]にチェックを入れると、選択した仕分けの項目(フォルダ)に含まれる要素が、図面上で点滅して表示されます。

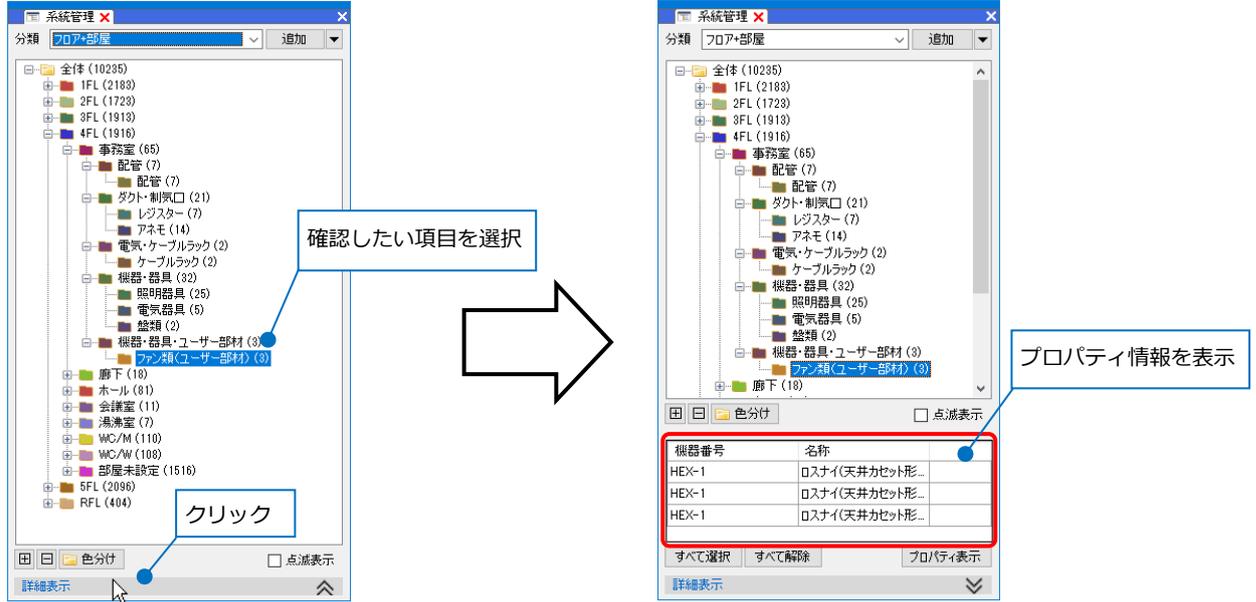


階層分けした要素の確認

詳細表示

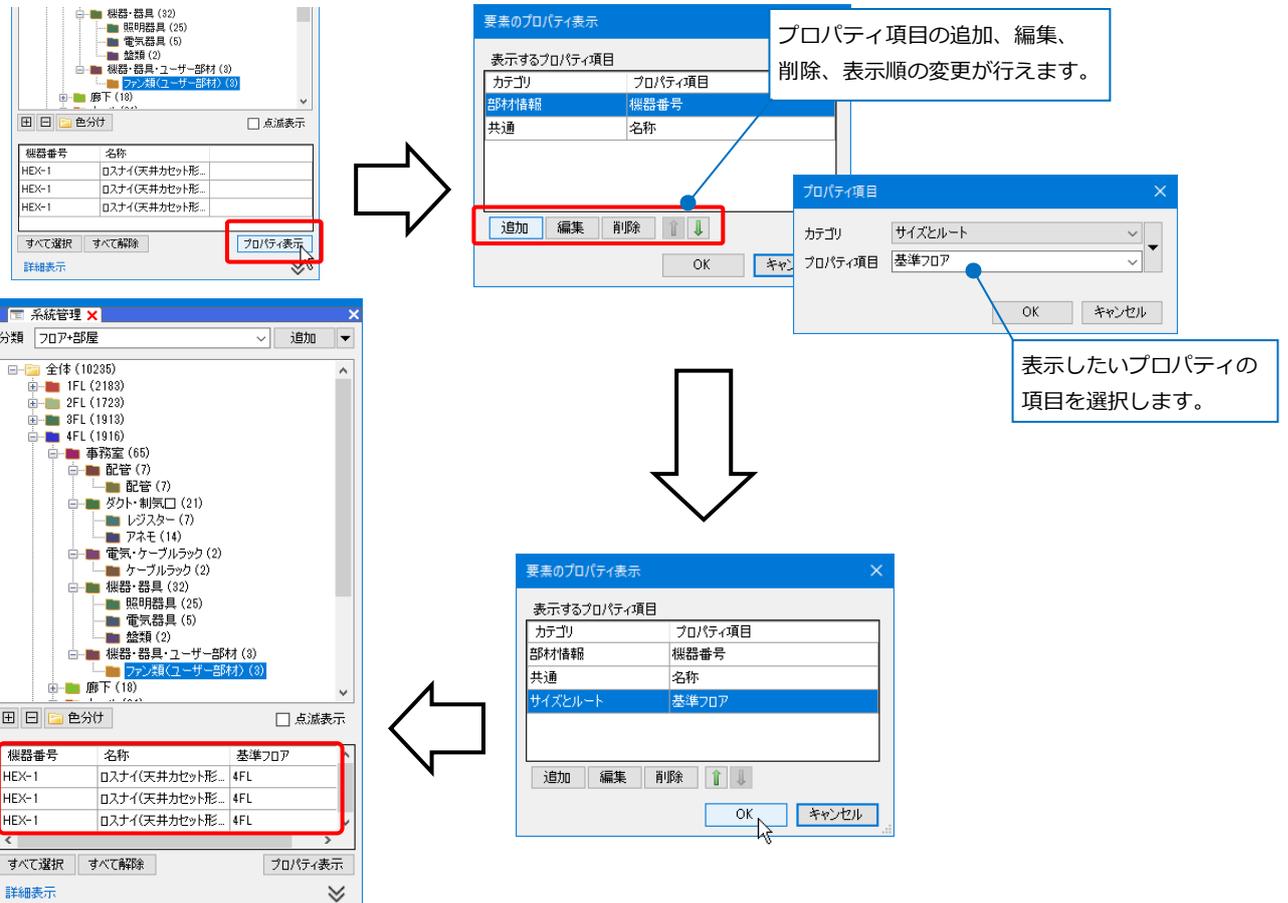
確認したい仕分けの項目(フォルダ)を指定し、[システム管理]パネルの[詳細表示]をクリックします。

→選択したフォルダに含まれる要素のプロパティ情報を確認することができます。



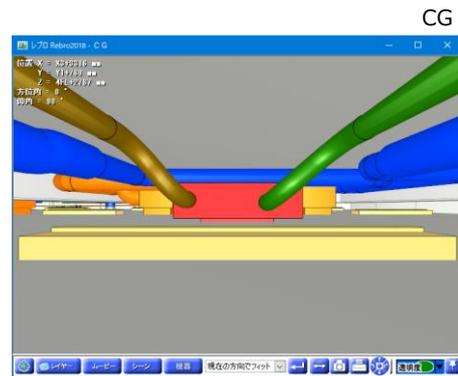
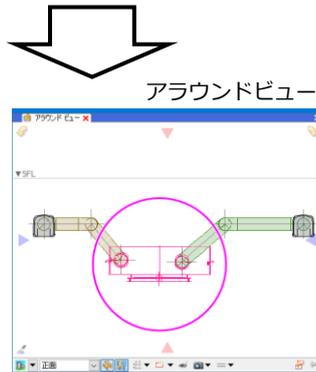
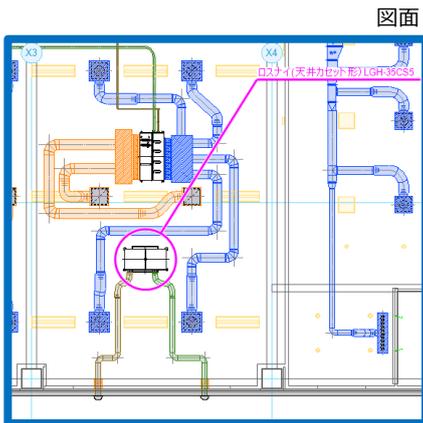
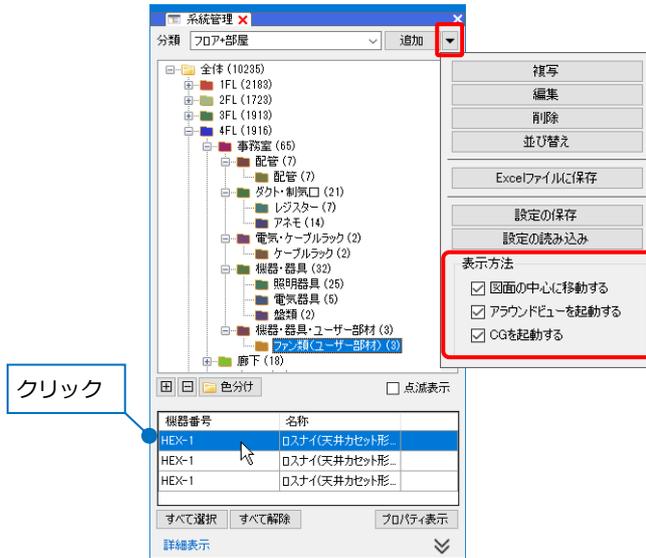
● 補足説明

[プロパティ表示]をクリックすると、詳細表示するプロパティの項目の追加や削除が行えます。



表示方法の設定

詳細表示内の確認したい要素欄をクリックすると、[システム管理]パネル内[追加]横の▼の[表示方法]に合わせて要素を確認することができます。



階層分けした情報をExcelに出力

システム管理パネルの[追加]横の▼から[Excelファイルに保存]をすると、分類ごとに階層分けした情報をExcelファイルで出力することができます。

階層	色	要素数	機器番号	名称
全体			10235	
1FL			2183	
事務室			66	
配管			8	
配管			6	
				ドレン(空調)配管 50A
				ドレン(空調)配管 50A
				ドレン(空調)配管 50A
				冷凍配管 15.9φ×25.4φ
				冷凍配管 15.9φ×25.4φ
継手			2	
				銅管継手(白) 45°エルボ(バンド付)(50)
				銅管継手(白) 45°エルボ(バンド付)(50)
ダクト・制気口			21	
レジスター			7	
				吸込口 HS 450×450
				吸込口 HS 450×450
				吸込口 HS 450×450
				吸込口 HS 450×450
				吸込口 HS 450×450
				吸込口 HS 450×450
アネモ			14	
				アネモ型 吹出口 E2 #30
				アネモ型 吹出口 E2 #30
				アネモ型 吹出口 E2 #30
				アネモ型 吹出口 E2 #30

4.確認モード

確認モードを使用すると、系統管理の分類、フロア、部屋、カスタムプロパティの項目、ゾーンの種類ごとに要素を色分けして表示し、図面上やCGで確認することができます。

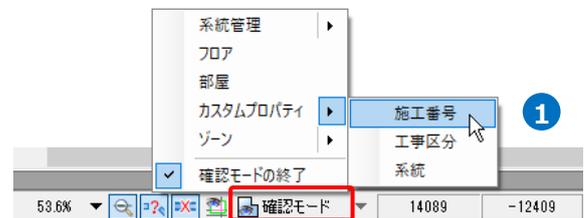
[確認モード] (画面右下) をオンにすると、選択した項目の値ごとに色分けして確認することができます。



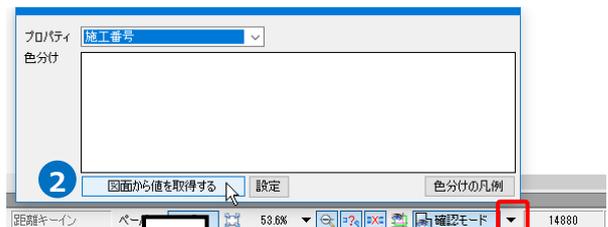
確認モードの起動

カスタムプロパティの確認

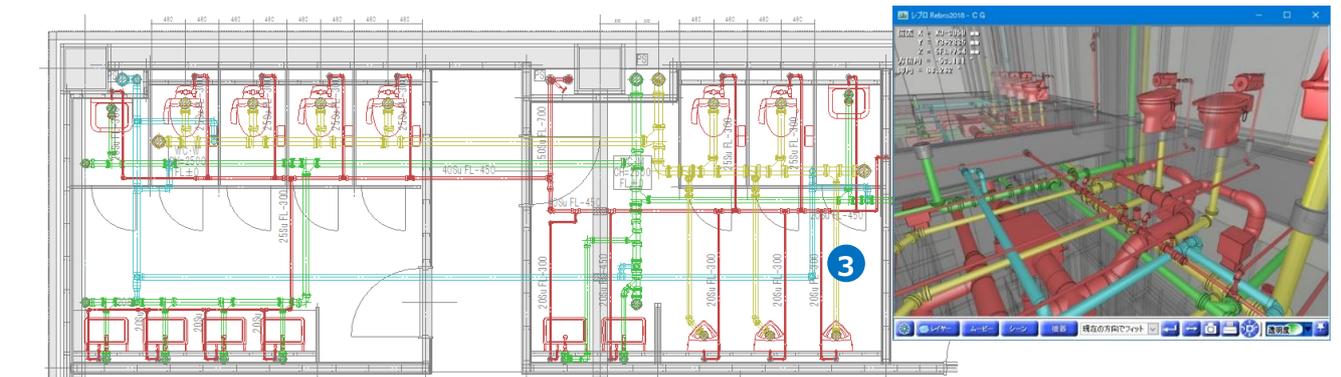
- 1 [確認モード] をクリックし、[カスタムプロパティ] から確認したいプロパティ項目名をクリックします。



- 2 [確認モード] 横の▼をクリックし、「図面から値を取得する」をクリックします。
→図面上に設定しているカスタムプロパティの値と色が表示されます。



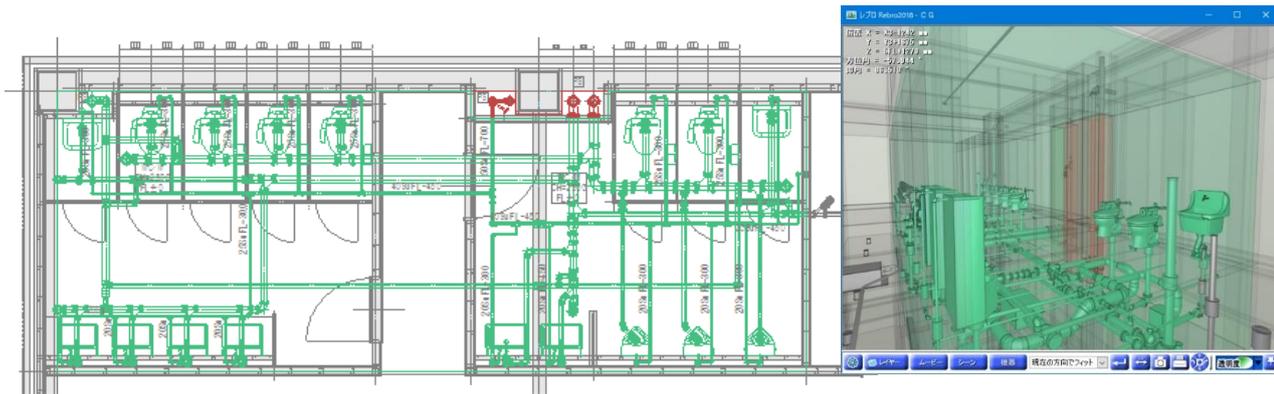
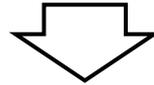
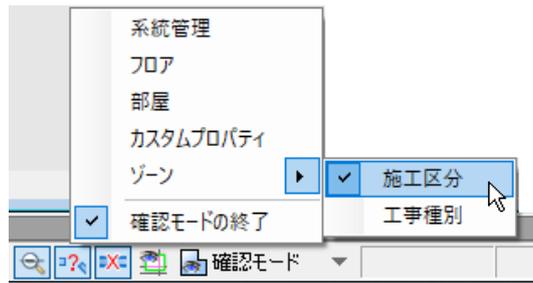
- 3 画面をクリックしてメニューを閉じます。
→カスタムプロパティの値ごとに色分けして図面上とCGで表示されます。



ゾーンの確認

[確認モード]をクリックし、[ゾーン]から確認をしたいゾーンの種類を選択します。

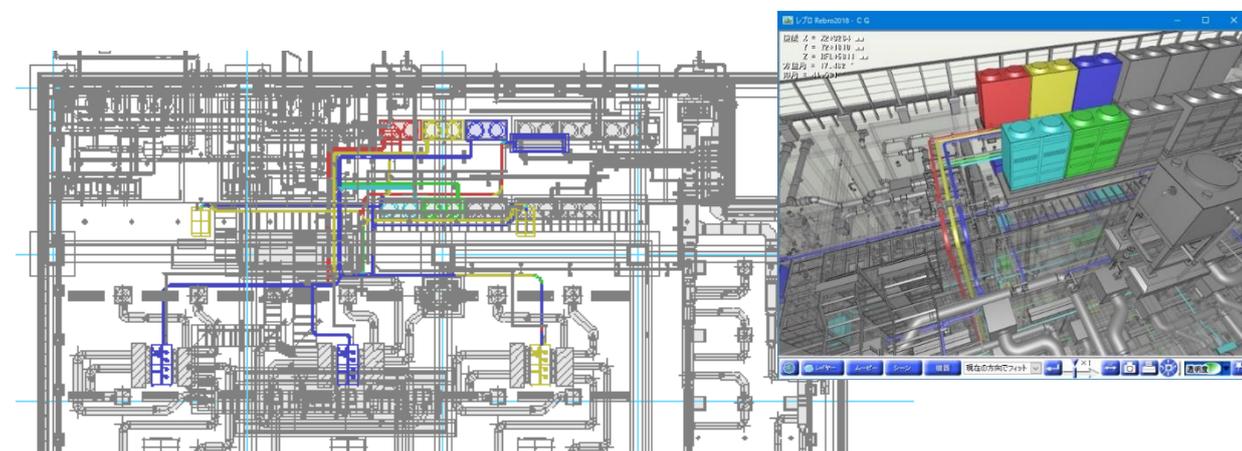
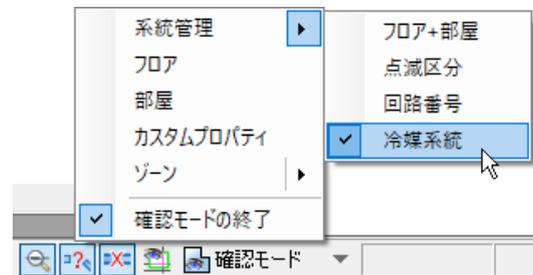
→ゾーンに含まれる要素がゾーンの名称ごとに色分けされて図面上とCGで表示されます。



系統管理の確認

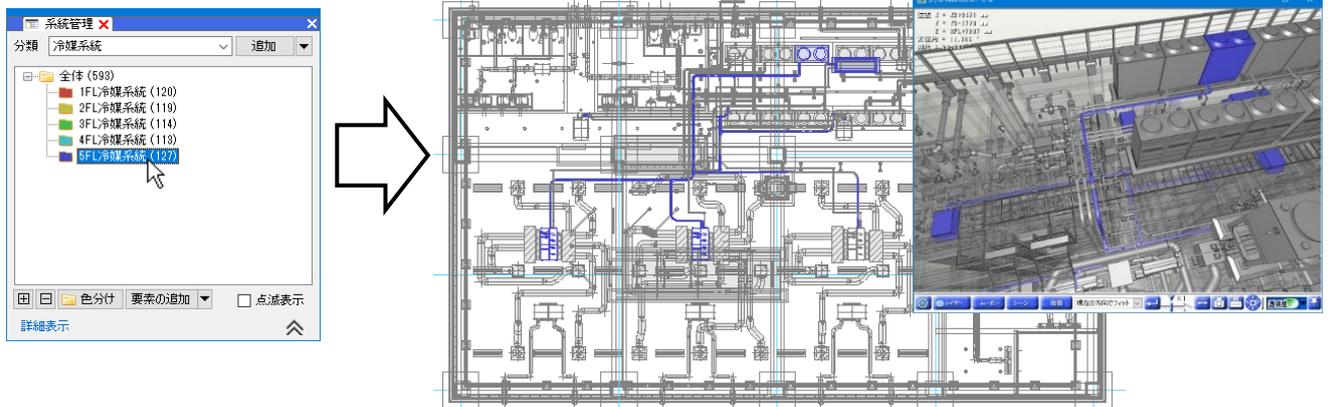
[確認モード]をクリックし、[系統管理]から確認をしたい分類を選択します。

→仕分けした項目ごとに要素が色分けされて図面上とCGで表示されます。



- 補足説明

[確認モード]がオンの時、系統管理パネルで確認したい仕分けの項目(フォルダ)を選択すると、該当の要素のみ設定した色で表示されます。

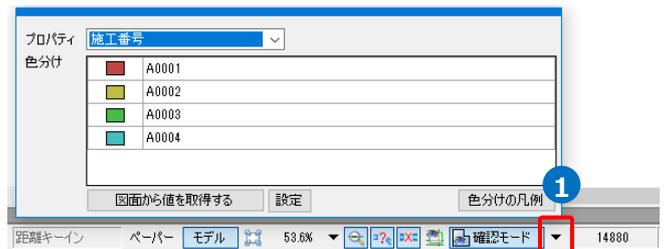


色の変更

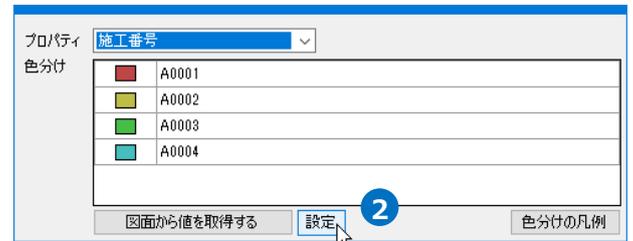
値ごとの色を変更します。

カスタムプロパティ (フロア、部屋)

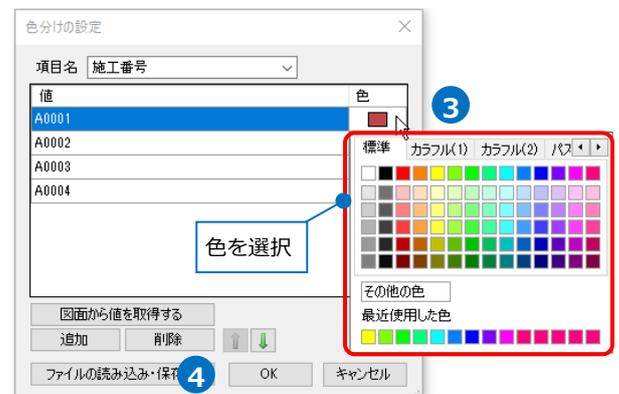
- 1 [確認モード]がオンの状態で[確認モード]横の▼をクリックします。



- 2 [設定]をクリックします。
→[色分けの設定]ダイアログが開きます。



- 3 [色分けの設定]ダイアログで変更する色をクリックし、色を変更します。



- 4 [OK]をクリックします。

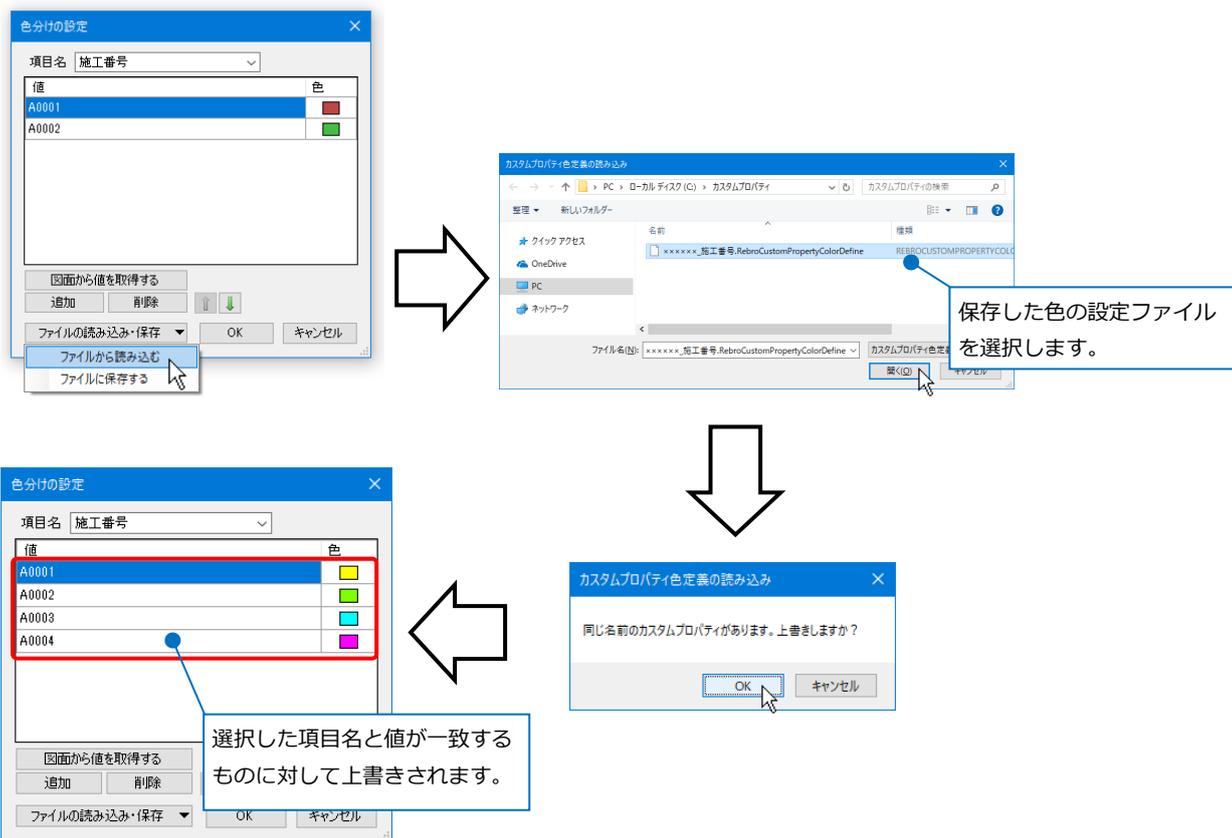
- 補足説明

カスタムプロパティは、[色分けの設定]ダイアログの[ファイルの読み込み・保存]で色の設定をファイルで保存し、保存した設定ファイルを読み込むことで他の図面でも同じ色の設定を使用することが可能です。

- ・色の設定をファイル(*.RebroCustomPropertyColorDefine)に保存



- ・色の設定ファイル(*.RebroCustomPropertyColorDefine)を読み込み

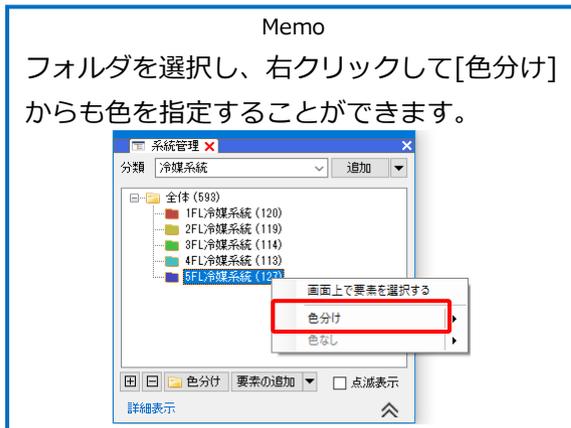


系統管理

- 1 系統管理パネルで色を変更したい仕分けのフォルダを選択し、[色分け]をクリックします。



- 2 色のパレットから変更する色を選択します。



ゾーン

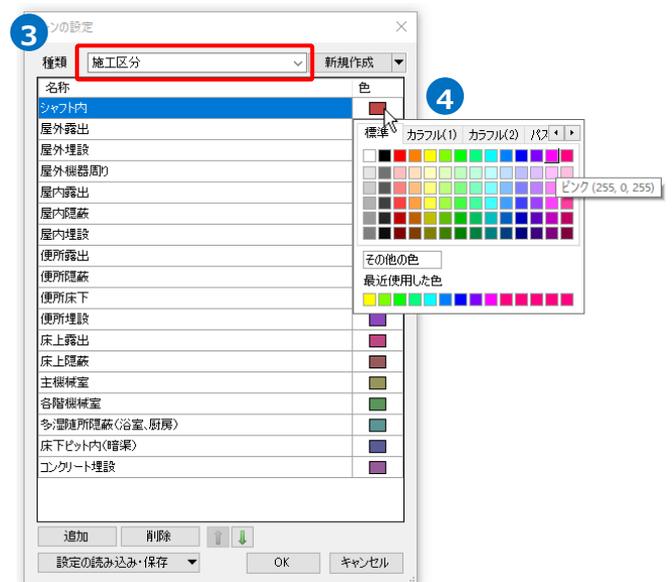
- 1 [ツール]タブ-[ゾーン]をクリックします。



- 2 [設定]をクリックします。



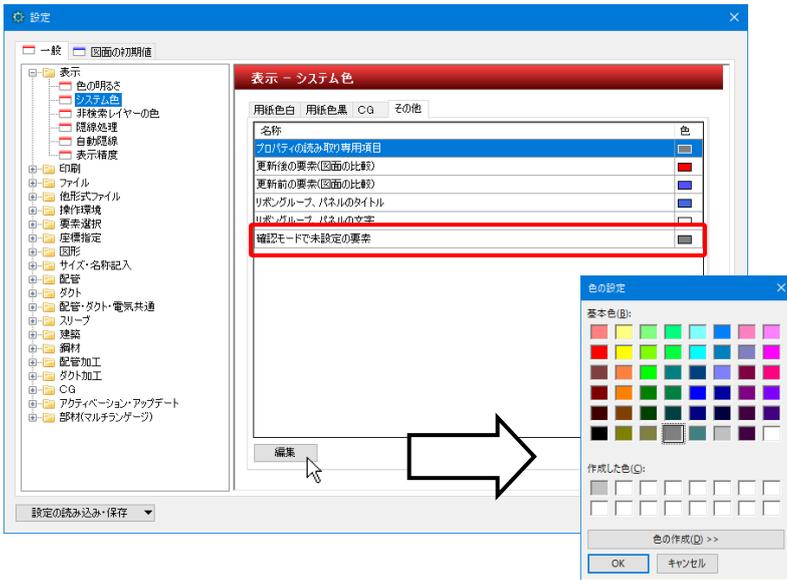
- 3 色を変更したい[種類]を選択します。



- 4 [色]欄をクリックし、色のパレットから変更する色を選択します。

選択した項目以外の要素の色

選択した各項目に含まれない要素の色は、[設定]-[一般]タブ-[表示]-[システム色]の[その他]タブの「確認モードで未設定の要素」から変更することができます。



● 補足説明

[確認モード]がオンの状態で図面を印刷すると、画面に表示されている色のまま印刷することができます。

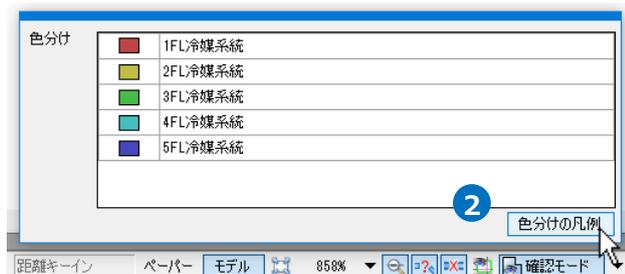
色分けの凡例

設定した色分けを凡列表として作図します。

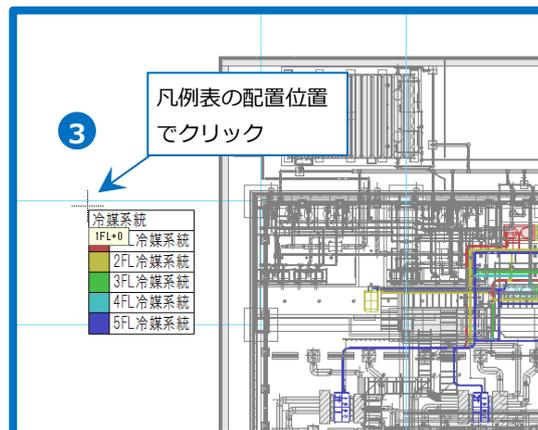
① [確認モード]がオンの状態で[確認モード]横の▼をクリックします。



② [色分けの凡例]をクリックします。



③ 凡列表の配置位置を指定します。



確認モードの終了

[確認モード]を終了する場合は、[確認モード]をクリックし、[確認モードの終了]をクリックします。

